

インストール ガイド



10300596-000 Revision A

著作権

Copyright (C) 2006 Kofax Image Products, Inc. All Rights Reserved.

このドキュメントに含まれている情報は、Kofax Image Products, Inc. の所有物です。 Kofax Image Products, Inc. の書面による承認なく、この内容の一部またはすべてを無断 で複写、複製、転載、再発行することを禁じます。また、本書に記載されている情報 を使用したことにより発生する影響については、その責任を負いません。

商標

Kofax、Kofax ロゴ、VirtualReScan、VRS VirtualReScan ロゴ、ImageControls、および Adrenaline は、Kofax Image Products, Inc. の登録商標です。VRS は、Kofax Image Products, Inc. の商標です。

ISIS は、EMC Captiva の登録商標です。

TWAIN は、TWAIN Working Group の登録商標です。

その他の製品名、ロゴは各所有者の商標または登録商標です。

免責条項

このガイドに記載されている説明は、印刷した時点では正しい内容ですが、製品の改 良に伴い、製品およびガイドの内容は予告なく変更される場合があります。Kofax Image Products, Inc. は、エラー、落丁、または製品とこのマニュアルの相違により発生 した直接的または間接的な損害について、一切保証しないものとします。このマニュ アルを通して、設定の変更が可能な箇所については、設定可能なすべての状態で検証 を行っておりますが、マニュアルに記述した以外の値またはパラメータが指定された 場合、予期できない結果が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。

目次

このガイドの使い方	vii
はじめに	vii
このガイドの構成	
関連ドキュメント	ix
トレーニング	
Kofax テクニカル サポート	x
概要	1
はじめに	
VRS の使用	2
VRS プロフェッショナル機能	
VRS スキャナ:動作保証されたスキャナとそれ以外のスキャナ	
VRS Component Installer	
Adrenaline イメージ プロセス エンジン付き VRS の使用	
管理者権限	
システム要件	
最小システム要件	
推奨システム要件	
TWAIN およい ISIS について USB お上が FireWire とついて	8
PCI スロットの要件	
周辺機器のサポート	
サポートするオペレーティング システム	
動作保証されたインターフェイス	
動作保証された SCSI スキャナ コントローラ	

インストールに関する注意事項	.10
VRS & Ascent Capture	.10
他の Kofax 製品	.11

VRS のインストール	13
はじめに	13
インストール手順	14
VRS ソフトウェアのインストール	14
インストール後の VRS ライセンスのアクティベーション / 登録	
インストール後の VRS プロフェッショナル ライセンスのアクティベーション	
デモ モード	31
	31
インターネット未接続時の VRS フイセンスのアクティベーション	34
インストール俊の VKS 基本フイセンスの登録	
インノー ホノトホ波和小 の VKS 座本ノイ ビン ハの豆 跡	39
SCSI スキャナ コントローラの取り付け	
スキャナの取り付け	
TWAIN のインストール	46
USB および FireWire のインストール	
USB/FireWire ドライバ インストール後の操作	47
スキャナの接続の確認	48
新しいハードウェアの検出ウィザードによる設定	
スキャニング アプリケーションのインストール	
製品アップデートの確認	
アップデートの自動確認	
アップデートの手動確認	
「ツノアートの確認、タワンロード、およびインストール	
衆師ノツノフ 一下のノノイノ ヘトニル	50

VRS インストール後のテスト	
はじめに	
ImageControls アプリケーションを使用した VRS のテスト	
ISIS アプリケーションを使用した VRS のテスト	60
TWAIN アプリケーションを使用した VRS のテスト	62

Adrenaline SCSI スキャナ コントローラのセットアップ......65

はじめに	.65
ソフトウェアのインストール	.65
SCSI スキャナコントローラの取り付け	.66
注意	.66
スキャン ソースの作成と設定	.68
VCDemo を使用したテスト	.68

はじめに						69
VRS と関連し	ミコンポーネン	トのアンイン	ストール			69
インターネッ	・ト未接続時の	VRS ライセン	/スのアクテ/	ィベーション解	除	74

スキャナ設定ユーティリティ	77
はじめに	.77
スキャン ソースの設定	.78
VRS のデフォルト設定の復元	.80

まじめに
インタラクティブ モードへの切り替え83

VCDemo の起動	
はじめに	
VCDemo の起動	
ツールバー	
[File] メニュー	
[Source] メニュー	
[View] メニュー	
[Imaging] メニュー	
[Help] メニュー	

索引					•					• •																	•					-								9	5	
----	--	--	--	--	---	--	--	--	--	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	---	---	--

このガイドの使い方

はじめに

「VirtualReScan インストール ガイド」は、VirtualReScan (VRS) を正常にインストール し、テストするために必要な情報を提供します。このガイドは、基本的なシステム要 件の概要と、VRS をインストールしてテストするための手順について説明します。ま た、お使いのコンピュータに Adrenaline SCSI スキャナ コントローラをセットアップ して、テストする手順についても説明しています。

このガイドは、Windowsの基本的な機能について熟知しており、お使いのスキャナの 設定方法およびスキャナアプリケーションの使用方法を理解していることを前提に記 述されています。

このガイドの構成

このガイドは、次の章から構成されています。

概要では、VirtualReScan (VRS) アプリケーションの概要および VRS を実行するための必須条件を説明します。また、Adrenaline SCSI スキャナ コントロールの概要 および関連システムの必須条件についても説明します。

VRS のインストールでは、VRS のインストールおよびライセンスのアクティベー ション手順を説明します。

VRS インストール後のテストでは、ImageControls ベースのアプリケーション、 ISIS アプリケーション、および TWAIN アプリケーションを使用してインストール した VRS をテストする方法について説明します。

Adrenaline SCSI スキャナ コントローラのセットアップでは、Kofax Adrenaline SCSI スキャナ コントローラの取り付け方法について説明します。この章では、ス キャナ コントローラをテストする方法についても説明します。

VRS のアンインストールでは、VRS アプリケーションと関連したコンポーネント のアンインストール手順を説明します。

スキャナ設定ユーティリティでは、スキャンおよびイメージ デバイス用のソース とデフォルトの VRS スキャナを設定する Kofax スキャナ設定ユーティリティの概 要について説明します。

VRS 非インタラクティブ モードでは、VRS を非インタラクティブ モードからイ ンタラクティブ モードへ戻す方法について説明します。

VCDemo の使用では、すべての VRS と Adrenaline SCSI スキャナ コントローラに 含まれているデモ アプリケーション VCDemo の概要について説明します。

関連ドキュメント

「VRS インストール ガイド」は、VRS ドキュメント セットの一部です。VRS の製品 パッケージには、次の関連ドキュメントも含まれます。

VRS ユーザーズ ガイド

「VRS ユーザーズ ガイド」では、VRS の使用方法と製品機能の詳細が説明されていま す。このガイドは、スキャンに関する知識にかかわらず、スキャン操作を行うすべて のユーザーを対象としています。「VRS ユーザーズ ガイド」は PDF 形式ファイルで、 VRS のユーザー インターフェイスまたはインストール CD から開くことができます。

VRS オンライン ヘルプ

オンライン ヘルプは、VRS アプリケーションに対してオンスクリーン アシスタンス を提供します。オンライン ヘルプは、VRS ユーザー インターフェイスから F1 キーを 押すか、または VirtualReScan インタラクティブ ビューア の [ヘルプ] メニューから [VRS ヘルプ] を選択すると表示されます。

VRS リリース ノート

最新の製品情報は、VRS リリース ノートに掲載されています。リリース ノートは注 意してお読みください。これには、他の VRS ドキュメントでは掲載されていない情 報などが含まれている場合があります。

トレーニング

Kofax では、Kofax ソリューションを最大限活用できるように、トレーニングを提供 しています。トレーニング オプションとスケージュールに関する詳細は、Kofax Web サイト (www.kofax.com) を参照してください。

Kofax テクニカル サポート

Kofax 製品に関する最新のテクニカル情報は、Kofax Web サイト (http://www.kofax.com) から Support ページを参照してください。このページでは、改訂履歴、オンラインド キュメントやユーザーズ ガイド、更新された製品のリリース ノート、テクニカル ヒ ント、豊富なナレッジベースなど、各製品に関する情報が提供されています。VRS の FAQ も、VRS の Support ページに掲載されています。

また、Kofax Web サイトには Kofax 製品のサポート オプションに関する情報も掲載さ れています。利用可能なサポート オプションに関する詳細は、Web サイトを参照し てください。Kofax テクニカル サポートへのお問い合わせの際は、次の情報をご用意 ください。

- VRS バージョンとビルド番号
- スキャニング アプリケーション ソフトウェアのバージョン
- オペレーティング システムとサービス パックのバージョン
- スキャナの製造元およびモデル
- SCSI スキャナ コントローラ (該当する場合)
- 特殊なカスタム設定または総合情報



はじめに

VirtualReScan (VRS)は、あらゆるタイプの文書に対して最高のイメージ品質を提供す ることを目的とした画像処理ツールです。スキャニングアプリケーションおよびス キャナと共に、ユーザーの基準に沿ったスキャンイメージの画質を提供します。VRS は、低画質のイメージを直ちに検出し、自動画像処理を行います。また、インタラク ティブに調整できるコントロールを使用することで、簡単かつリアルタイムにイメー ジを修正できます。

このガイドは、VRS のインストールおよびテストに関する重要な情報について説明します。

- VRS のインストールに必要なシステム要件
- VRS のインストール時に役立つ情報
- VRS のインストール手順
- スキャニングアプリケーションを使用した VRS のテスト手順

また、お使いのコンピュータに Adrenaline SCSI スキャナ コントローラをセットアッ プして、テストする手順についても説明しています。この SCSI コントローラにはス キャナドライバが含まれており、向上したスキャナ処理能力とイメージ処理機能を提 供します。Adrenaline コントローラは、ImageControls ツールキット、ISIS プログラム インターフェイス、または TWAIN プログラム インターフェイスをベースとしたアプ リケーションをサポートしています。

VRS インストール ガイド

VRS 基本	VRS 基本機能に対応。主に、処理能力が 40 ppm 以下 の動作保証されたスキャナで使用。
デスクトップ スキャナ用 VRS プロフェッショナル	VRS 基本機能、VRS プロフェッショナル機能、およ び処理能力が 25 ppm 以下の動作保証されたスキャナ に対応。
ワークグループ スキャナ用 VRS プロフェッショナル	VRS 基本機能、VRS VRS プロフェッショナル機能、 および処理能力が 25 ppm から 50 ppm の動作保証され たスキャナに対応。ハイレベルバーコード機能付き Adrenaline イメージプロセス エンジン (AIPE)もサポー ト(詳細は、6ページの「Adrenaline イメージプロセス エンジン付き VRS の使用」を参照してください)。
プロダクション スキャナ用 VRS プロフェッショナル	ワークグループスキャナ用 VRS と同様。スキャナ処 理能力 50 ppm 以上の動作保証されたスキャナに対応。

表 1. VRS ライセンス タイプ

VRS のライセンスは、機能 (VRS 基本機能および VRS プロフェッショナル機能)とス キャナの処理能力 (*ppm*) に基づいて分類されています。VRS は、異なるレベルの処理 能力をもつ、動作保証された幅広い範囲のスキャナで使用することができます。

説明

VRS の使用

ライセンス

VRS のインストール、または Adrenaline SCSI スキャナ コントローラのセットアップ を行う前に、この章の重要な情報とシステム要件の詳細を必ずお読みください。

VRS プロフェッショナル機能

すべての VRS に含まれる基本機能に加えて、VRS プロフェッショナル機能に対応したライセンスでは、次の機能が利用できます。

デスクトップ、ワークグループ、またはプロダクション クラスのライセンスでは、 VRS プロフェッショナル機能を使用できます。基本ライセンスでは、VirtualReScan インタラクティブ ビューア の [ツール]メニューから [プロフェッショナル機能デモ を有効にする]を選択すると、VRS プロフェッショナル機能をプレビューすることが できます。このオプションが選択されていると、VRS プロフェッショナル機能が使用 できるようになり、スキャンされたすべてのイメージに Kofax のロゴが挿入されま す。VRS 基本機能および VRS プロフェッショナル機能に関する詳細は、「VRS ユー ザーズ ガイド」または VRS オンライン ヘルプを参照してください。

VRSスキャナ:動作保証されたスキャナとそれ以外のスキャナ

VRS で動作保証されていないスキャナを使用する場合、厳密なテスト プロセスを通 して、最適なデフォルト設定を確認し選択しなければなりません。このため、VRS で 動作保証されたスキャナのみを使用することを推奨します。Kofax テクニカル サポー トは、VRS 動作保証スキャナに関してのみ受けられます。動作保証されているスキャ ナのリストは、Kofax Web サイトの製品ページから参照してください。また、VRS の 製品ページには、スキャナ名や製造元の他に、次の情報が掲載されています。

- VRS に使用されるドライバ (TWAIN、ISIS、または Kofax SCSI)
- ブラックボーダーまたはホワイトボーダー(自または黒の背景色)のサポート
- 最適なパフォーマンスを得るための追加メモリの必要性(該当する場合)
- VRS 動作保証インターフェイス (SSCI、USB、または FireWire)

動作保証されていない(互換性のない)いくつかのスキャナは、スキャナ設定ユー ティリティで設定することで、VRSで使用することができます。ただし、動作保証さ れていないスキャナを VRSで使用すると、イメージの質が劣化することがあるので 注意してください。VRSで使用できないスキャナも存在します。動作保証されていな いスキャナとの互換性を確保するには、次の要件を満たしている必要があります。

- 256 階調グレースケール イメージを1つのイメージとして出力する機能
- TWAIN ドライバまたは ISIS ドライバのサポート

メモ VRS は ISIS ドライバを使用したスキャナで最適に動作しますが、TWAIN ドラ イバを使用したスキャナもいくつかサポートしています。

動作保証されていないスキャナを VRS で使用する場合、このガイドのインストール 手順に従って VRS ソフトウェアをインストールしてください。VRS のインストール 中に、スキャナを選択するように指示されたら、[後でスキャナを設定する]チェッ クボックスを選択します。VRS でスキャナを使用するには、スキャナドライバをイ ンストールしてから、スキャナ設定ユーティリティを使用してソースを作成する必要 があります。詳細は、VRS のインストール後に 77 ページの「スキャナ設定ユーティ リティ」を参照してください。

VRS Component Installer

VRS インストール中に、動作保証されているスキャナのリストからスキャナを選択す る画面が表示されます。VRS インストーラは、選択したスキャナのドライバをインス トールします。動作保証されたスキャナのリストは常に更新されるため、新規に動作 保証されたスキャナは、インストール中に表示されるリストに追加されていないこと があります。リストに表示されない動作保証されたスキャナのドライバは、VRS Component Installer から利用できます。VRS Component Installer は、VRS のインストー ル後、Kofax の Web サイトからダウンロードできます。使用するスキャナ用の VRS Component Installer を選択するには、Kofax Web サイトの Support ページから Downloads Library を参照してください。

VRS Component Installer を必要とする場合は、このガイドの手順に沿って VRS のイン ストールを完了してください (14 ページの「VRS ソフトウェアのインストール」を参 照してください)。VRS のインストール中に、スキャナを選択するように指示された ら、[KSM を使用して後でスキャナを設定する]チェックボックスを選択します。イ ンストール後、Kofax の Web サイトから、使用するスキャナのドライバ用の VRS Component Installer アップデートをダウンロードします。

Component Installer は、VRS で動作保証されたスキャナにのみ有効です。動作保証されていないスキャナを VRS で使用するには、3ページの「VRS スキャナ:動作保証されたスキャナとそれ以外のスキャナ」の要件を満たしている必要があります。

Adrenaline イメージ プロセス エンジン付き VRS の使用

ワークグループ スキャナ用 VRS ライセンスおよびプロダクション スキャナ用 VRS ラ イセンスは、標準バーコードの読み取り、フォームの認識、罫線除去などのイメージ プロセス機能を提供する Adrenaline イメージ プロセス エンジン (AIPE) をサポートし ています。オプションとして、ハイレベル バーコード認識も利用できます。この機能 を使用する方法については、「ユーザーズ ガイド」の「付録 D – ハイレベル バー コード エンジン」を参照してください。

管理者権限

VRS のインストールまたは Adrenaline スキャナ コントローラのセットアップを行う には、管理者権限が必要です。インストールやセットアップを開始する前に、管理者 権限のあるユーザーでログインしてください。管理者権限は、インストールまたは セットアップ時のみ必要です。VRS や Adrenaline スキャナ コントローラの使用には 必要ありません。

ドメイン管理者アカウントによっては、ローカル コンピュータ上の一部のフォルダや レジストリキーにアクセスできないことがあります。使用する管理者アカウントに、 ローカルの管理者アカウントと同等のフォルダおよびレジストリアクセス権があるこ とを確認してください。

★モ 管理者としてログインする場合、グループポリシーが設定されていたり、ウィルス駆除ソフトの保護レベルが最高に設定されていると、制限を受けることがあります。

システム要件

インストールする前に、システム要件を満たしていることを確認してください。推奨 要件は、最速かつ最大の性能を引き出します。

最小システム要件

- Pentium 4、1.4 GHz プロセッサ
- 256 MB RAM
- 300 MB の空きディスク容量
- モニタ解像度:800 x 600
- Microsoft Internet Explorer 5

推奨システム要件

- Pentium 4、2.0 GHz プロセッサ
- カラー スキャンには 512 MB RAM
- 300 MB の空きディスク容量
- モニタ解像度:1024 x 768
- Microsoft Internet Explorer 6

メモ コンピュータに Microsoft .NET Framework 1.1 以上がインストールされていない 場合は、VRS インストーラによって自動的にインストールされます。システム要件に 関する詳細情報は、Kofax Web サイト (www.kofax.com)の Support ページを参照してく ださい。

TWAIN および ISIS について

VRS スキャナはすべて、TWAIN または ISIS ドライバのいずれかをサポートしていま す。一部のスキャナは、ISIS および TWAIN ドライバの両方で動作しますが、より最 適に動作するドライバのみがここでは保証されています。スキャナが TWAIN ドライ バで動作保証されている場合は、46 ページの「TWAIN のインストール」からその スキャナに適する手順を参照してください。VRS には、動作保証スキャナを制御する のに必要なすべての ISIS ソフトウェアが含まれているため、ISIS ドライバをインス トールする必要はありません。詳細は、Kofax Web サイトの Support ページを参照し てください。

USB および FireWire について

VRS スキャナには、USB または FireWire インターフェイスをサポートしているもの もあります。使用するスキャナが USB または FireWire インターフェイスを必要とす る場合、そのスキャナに適するインストール手順があります。詳細は、47 ページの 「USB および FireWire のインストール」を参照してください。

PCI スロットの要件

Adrenaline SCSI スキャナ コントローラを取り付ける前に、コンピュータに次の要件を 満たす PCI スロットがあることを確認します。

- コントローラ (175 mm) を収容可能な 5 Volt PCI スロット ロープロファイル には対応していません。
- 32ビットコネクタ(最小)
 5 Volt シグナルを使用していれば、64ビットコネクタでも可。

周辺機器のサポート

Kofax から適切なサポートを受けるためには、お使いのスキャナが Adrenaline 450/650/ 650i SCSI スキャナ コントローラで動作保証されていなければなりません。動作保証 されたスキャナかどうかを確認するには、Kofax Scanner Configurator を使用します。

▶ Kofax Scanner Configurator は、Kofax Web サイト (www.kofax.com) の Scanner Configurator を選択してください。

サポートするオペレーティング システム

VRS は、次のオペレーティング システム上で動作します。

- Windows XP Professional SP2
- · Windows 2000 Professional SP4

オペレーティング システムおよびサービス パックに関する最新情報は、Kofax の Web サイトで確認してください。

動作保証されたインターフェイス

USB、SCSI、および FireWire インターフェイスのみ、VRS との動作が保証されてい ます。

動作保証された SCSI スキャナ コントローラ

最新情報は、Kofax の Web サイトで確認してください。

インストールに関する注意事項

VRS 3.5(またはそれ以降)をインストールしている場合は、VRS をアンインストール せずに VRS 4.1 にアップグレードすることができます。VRS 3.5 より前のバージョン を使用している場合は、VRS 4.0 にアップグレードする前に、VRS 3.5 にアップグ レードする必要があります。既存の VRS のバージョンを確認するには、次のいずれか を行います。

- VRS 3.5 またはそれ以前のバージョン [VRS インタラクティブ プロパティ]ダ イアログ ボックスの[バージョン情報]タブを選択します。
- VRS 4.0 VirtualReScan インタラクティブ ビューアのメニュー バーから、[ヘルプ]-[バージョン情報]を選択します。

VRS のアンインストールに関する詳細は、69 ページの「VRS のアンインストール」 を参照してください。VRS 3.5 から VRS 4.0 へのアップグレードに関する詳細は、 VRS リリース ノートを参照してください。

VRS と Ascent Capture

VRS 4.x は、Kofax Ascent Capture 7.x の一部として自動的にインストールされます。このため、Ascent Capture 7.x が既にインストールされている場合は、別途 VRS をインストールする必要はありません。Ascent Capture の一部として VRS をインストールした場合は、[プログラムの追加と削除] リストに VRS は表示されません。

Ascent Capture のインストールに関する詳細は、「Ascent Capture/Ascent Capture Internet Server インストール ガイド」および Ascent Capture リリース ノートを参照してください。

他の Kofax 製品

Kofax 製品のインストールに関する最新情報を入手するには、Kofax Web サイトの Scanner Configurator を使用します。Scanner Configurator は、推奨する Kofax 製品の組 み合わせについて掲載されています。ただし、ここでは、インストール順序について は記載していません。インストール手順については、該当する他の Kofax 製品に付属 するドキュメントを参照してください。適切なインストール順序について Kofax へ問 い合わせが必要な場合は、x ページの「Kofax テクニカル サポート」を参照してくだ さい。

VRS のインストール

はじめに

この章では、VRS のインストール手順について説明します。これらの手順は、VRS のライセンスおよび VRS で使用するスキャナの処理能力によって多少異なります。 (2 ページの表 1 を参照してください)。VRS のライセンス タイプは、VRS 製品パッ ケージの外側にあるラベルで確認できます。オンラインで購入した場合は、購入時に Kofax から提供された製品情報で確認できます。

メモ VRS のインストール手順には、Adrenaline SCSI スキャナ コントローラ用のドラ イバおよびファイルのインストールも含まれます。

VRS のインストールを開始する前に、次のアイテムを準備してください。

- VRS インストール CD (該当する場合)
- VRS で動作保証しているスキャナ
- SCSI スキャナ コントローラおよびサポート ドキュメント (該当する場合)
- Kofax で動作保証しているスキャナ ケーブル

メモ Kofax で動作保証しているスキャナ ケーブルに関する詳細は、Kofax Web サイト (www.kofax.com) の Scanner Configurator を選択してください。

インストール手順

VRS のインストール手順は以下のとおりです。

- **1** VRS ソフトウェアのインストール (14 ページを参照)
- 2 (該当する場合) SCSI スキャナ コントローラの取り付け (44 ページを参照)
- **3** (該当する場合)スキャナの取り付け(46ページを参照)
- 4 (該当する場合)新しいハードウェアの検出ウィザードによる設定(50ページを 参照)
- 5 スキャニングアプリケーションのインストール(51ページを参照)

VRS ソフトウェアのインストール

このセクションでは、VRS 4.1 ソフトウェアのインストール方法を説明します。VRS 3.5 または VRS 4.0 を使用している場合は、VRS をアンインストールせずに VRS 4.1 にアップグレードすることができます。VRS 3.5 より前のバージョンを使用している 場合は、VRS 4.1 にアップグレードする前に、VRS 3.5 にアップグレードする必要が あります。詳しい手順については、10ページの「インストールに関する注意事項」お よび製品パッケージに含まれる VRS リリース ノートを参照してください。VRS リ リース ノートは、Kofax Web サイトからも入手できます。

Adrenaline SCSI スキャナコントローラのセットアップを行う場合は、このセクションに ある VRS のインストール手順に従って、必要なドライバおよびファイルをコンピュー タにインストールします。インストールが完了したら、65ページの「Adrenaline SCSI スキャナコントローラのセットアップ」を参照してください。

VRS ソフトウェアをインストールするには

VRS をインストールするコンピュータに管理者権限のあるユーザーでログインして、アプリケーションをすべて閉じます。

★モ ドメイン管理者アカウントによっては、ローカル コンピュータ上の一部 のフォルダやレジストリ キーにアクセスできないことがあります。使用する 管理者アカウントに、ローカルの管理者アカウントと同等のフォルダおよび レジストリ アクセス権があることを確認してください。

- 2 次のいずれかを行います。
 - VRS インストール CD を適切な CD-ROM ドライブに挿入します。インス トール CD は自動再生をサポートしているため、インストールは自動的に開 始されます。
 - オンラインで製品を購入後、VRS をダウンロードしたフォルダを参照し、 setup.exe を実行します。

VRS のインストールが開始されます。

Microsoft .NET Framework 1.1 以上がコンピュータにインストールされていない 場合は、自動的にインストールされます。既にインストールされている場合 は、次のステップに進みます。

★モ VRS のインストールを途中でキャンセルした場合、インストールされた Microsoft .NET Framework 1.1 はそのまま残り、VRS コンポーネントのみ削除 されます。

3 VirtualReScan セットアップ初期画面が表示されます(図1)。



図 1. VirtualReScan セットアップ初期画面

次のいずれかのインストールオプションを選択します。

- VRS のみのインストール
- Adrenaline SCSI コントローラのみインストール
- VRS および Adrenaline SCSI コントローラのインストール

4 [ユーザー ID] 画面が表示されます(図 2)。前の画面で "Adrenaline SCSI コント ローラのみインストール "を選択した場合は、[ユーザー ID] 画面は表示され ません。

🙀 Kofax VirtualRe	Scan 4.10 - InstallShield Wizard 🛛 🛛 🔀
User Identificatio Please enter your	n user information.
<u>N</u> ame:	User 1
<u>⊂</u> ompany:	ABC Company
<u>E</u> mail:	User1@ABC.com
InstallShield	Please do <u>n</u> ot contact me with product-related information.

図 2. [ユーザー ID] 画面

VRS を デモ モードでインストールする場合は、[次へ]をクリックします。詳細は、31ページの「 デモ モード 」を参照してください。

[ユーザーID] 画面では、次の操作を行います。

- a 名前、会社名、電子メールを入力します。
- **b** Kofax 製品情報を電子メールで受け取らない場合は、[製品情報を受け取らない]チェックボックスをオンにします。
- **c**[次へ]をクリックします。
- 5 [製品情報]画面が表示されます(図 3)。VirtualReScan セットアップ初期画面で "Adrenaline SCSI コントローラのみインストール"を選択した場合、[製品情報]画面は表示されません。

🖟 Kofax VirtualReScan 4.10 - InstallShield Wizard	\mathbf{X}			
Product Information Please enter your information.				
The product information required for this screen is located on a pre-printed label sheet that is included in your shipping box. If you purchased your product online, the information required for this screen was issued from the Kofax Web site and also sent via email at the time of purchase.				
I am upgrading from VRS 3.50 to VRS 4.10 Basic.				
Part number:				
Serial number:				
Prodyct code:				
InstallShield				

図 3. [製品情報] 画面

この画面で入力する情報は、VRS 製品ボックスにあるラベル シート (図 4)に 記載されています。オンラインで製品を購入した場合は、購入時に Web サイ トで発行され、電子メールでも送られます。



図 4. 製品情報ラベル (サンプル)

- 6 VRS 3.5 から 4.1 への基本ライセンスのアップグレードを行う場合は、チェックボックスをオンにして、[次へ]をクリックします。それ以外の場合は、次のステップに進みます。
- 7 前の画面でチェックボックスをオンにしなかった場合は、次のいずれかを行います。
 - VRS 4.1 のパート番号、シリアル番号、および製品コードを入力します。これらの情報は、製品ボックスのライセンス ラベル シート(図4を参照)に記載されているか、またはオンラインで購入時に提供されます。情報を入力して、[次へ]をクリックします。
 - VRSをデモモードでインストールする場合は、何も入力せずに、[次へ]を クリックします。この場合、確認ダイアログが表示されるので、[いいえ] をクリックします。

メモ VRS ラベルシート、製品情報は安全な場所に保管してください。

8 [インストール先フォルダ]画面が表示されます(図5)。

🙀 Kofax	VirtualReScan 4.10	- InstallShield Wizard		
Destination Folder Click Next to install to this folder, or click Change to install to a different folder.				
Install K	ofax VirtualReScan 4.10	to:		
	C:\Program Files\Kol	ax\Imgctls\	Change	
	Space Required:	300 MB		
	Space Available:	60 GB		
InstallShield	1	< <u>B</u> ack	Next > Cancel	

図 5. [インストール先フォルダ] 画面

VRSのインストールではシステムを検査し、デフォルトドライブの空き容量 をチェックします。そして、必要な容量と空き容量を表示します。

[次へ]をクリックして、インストール先フォルダを C:\PROGRAM FILES\KOFAX\IMGCTLS にするか、[参照]をクリックして、別のフォルダを 選択します。デフォルトのインストール先フォルダは、上記と異なる場合があ ります。

9 [次へ]をクリックして、インストールするフォルダを決定します。十分な空き ディスク容量がない場合、メッセージが表示されます。この場合、[OK]をク リックしてメッセージを閉じます。そして、[キャンセル]と[セットアップ の終了]をクリックして VRS のインストールを終了します。システム上の空 きディスク容量を増やしてから、再度 VRS のインストールを開始します。

10 [動作保証スキャナ] 画面が表示されます(図 6)。

i Kofax VirtualReScan 4.10 - Select Scanner	X
Certified Scanners	
Select a scanner from the list. You can choose to configure your scanner later. If your scanner is not in the list, choose to configure it later and use the Scanner Configuration Utility to configure your scanner. Select Next to continue.	
Scanner Model A Scanner Model B Scanner Model C Scanner Model D Scanner Model E Scanner Model F Scanner Model H	
Currently selected scanner:	
InstallShield	

図 6. [動作保証スキャナ] 画面

次のいずれかを行います。

- リストから VRS 動作保証スキャナを選択して、"現在選択されているスキャナ"として表示されたら、「次へ」をクリックします。
- リストに表示されていない VRS 動作保証スキャナは、後で VRS Component Installer をダウンロードして設定します。ここでは、[後でスキャナを設定する]チェックボックスをオンにして、[次へ]をクリックします。詳細は、 インターフェイスを参照してください。
- VRS または Adrenaline スキャナ コントローラを動作保証されていないス キャナと共に使用する場合は、[後でスキャナを設定する]オプションを選 択して、[次へ]をクリックします。動作保証されていないスキャナを使用 する場合は、Kofax スキャナ設定ユーティリティを使用して、VRS または Adrenaline コントローラ用にスキャナを設定します。詳細は、77ページの 「スキャナ設定ユーティリティ」を参照してください。

★モ 動作保証されたスキャナのリストで、同じスキャナが2つ表示されることがあります。これは、1つは非インタラクティブモード用です。VRSをバックグランドで実行する場合は、非インタラクティブモード用を選択します。非インタラクティブモードでは、スキャン中にVRSユーザーインターフェイスを使用したり、表示することができません。詳細は、83ページの「VRS 非インタラクティブモード」を参照してください。

11 インストール開始の準備ができると、準備完了のメッセージが表示されます。 インストールを開始する前に設定を変更する場合は、[戻る]をクリックして前の画面に戻ることができます。そうでない場合は、[インストール]をクリックしてインストールを開始します。

インストール中に、確認メッセージといくつかのアップデート メッセージが 表示されます。

12 Windows XP では、Adrenaline SCSI スキャナ コントローラを含むインストール オプションを選択した場合、互換性メッセージが表示されることがあります。 メッセージが表示された場合は、[続行]をクリックして、次のステップに進んでください。

メモ[続行]をクリックしない場合は、しばらくすると、互換性メッセージ は自動的に閉じます。

- 13 VRS インストールが完了すると、完了のメッセージが表示されます。
- 14 直ちにコンピュータを再起動するオプションを選択して、[完了]をクリックします。再起動した後にスキャナのドライバがインストールされる場合があるため、コンピュータが再起動されるまで VRS インストール CD を取り出さないでください。スキャナドライバのインストール手順は、インストール時に選択したスキャナによって異なります。
- 15 製品ライセンスが VRS プロフェッショナル機能に対応している場合や、[製品 情報]画面で VRS 3.5 から VRS 4.10 基本ライセンスへのアップグレードを選択

した場合は、[VRS のアクティベーション]ダイアログ ボックスが表示されます(図 7)。

Activate VRS	X			
User Identification				
<u>N</u> ame:	User 1			
<u>C</u> ompany:	ABC Company			
<u>E</u> mail:	User1@ABC.com			
Please do not contact me with product information.				
○ Upgrade from VRS 3.5 to a 4.10 Basic license ③ Enter product identification for a license				
Product Identifica	tion			
<u>P</u> art Number:	VP - 0000 - 0000 More Info			
<u>S</u> erial Number:	PA12349			
Prod <u>u</u> ct Code:	Q678T2VD			
VRS Version:	4.10			
Scanner:	Scanner A			
Machine ID: 000B-DBD3-3D7A				
License Code If you already have a license code, enter it here: More Info				
Get License Code				
Activate Cancel <u>H</u> elp				

図 7. [VRS のアクティベーション] ダイアログ ボックス

VRS 3.50 から VRS 4.1 基本ライセンスにアップグレードする場合、ダイアログ ボックスにあるオプションはグレーで表示され、[アクティベーション]をク リックするだけです。[アクティベーション]をクリックする際、VRS 3.5 の ハードウェア キー(ドングル)か、有効な Adrenaline 650i スキャナコントロー ラが取り付けられている必要があります。

次の場合には、インストール時に [VRS のアクティベーション]ダイアログ ボックスは表示されません。

- VRS プロフェッショナル機能をサポートしていない VRS 基本ライセンスの 場合。[VRS の登録]ダイアログボックスが代わりに表示されます(図8の 後のステップを参照してください)。
- VRS をデモモードでインストールするために、インストール手順の[製品情報]画面をスキップした場合。
- VirtualReScan セットアップ初期画面で "Adrenaline SCSI コントローラのみインストール"を選択した場合。
- 16 [ユーザー ID] セクションのフィールドには、VRS の購入時またはインストー ル時に入力した値が設定されていることがあります。必要に応じて、[ユー ザー ID] セクションを更新します。
- 17 Kofax 製品情報を電子メールで受け取らない場合は、[製品情報を受け取らない]チェックボックスをオンにします。
- 18 "ライセンスの製品情報を入力する"オプションを選択します。
- 19 [ライセンス コード] セクションでは、次のいずれかを行います。
 - [ライセンスコードの取得]をクリックして VRS のライセンスコードを取得 します。ライセンスコードは、自動的に表示されます。このオプションを
使用するには、インターネットに接続しており、ダイアログボックスにあ るここまでのフィールドが入力済みでなければなりません。ライセンスのア クティベーションが完了すると、確認メッセージが表示され、ダイアログ ボックスは閉じます。

既にライセンスコードを取得している場合は、そのコードを入力します。
 [アクティベーション]をクリックすると、ライセンスのアクティベーションが行われます。
 ライセンスコードとその他のフィールドの入力値が正しければ、確認メッセージが表示されます。

インストーラが VRS ライセンス サーバーに接続できない場合は、[アクティ ベーション - インターネット未接続]ダイアログ ボックスが表示されます。 この場合は、34ページの「インターネット未接続時の VRS ライセンスのアク ティベーション」を参照してください。

- 20 前の画面で VRS プロフェッショナル ライセンスのアクティベーションを行った場合は、[アップデートの確認]ダイアログボックスが表示されます。詳細は、52ページの「製品アップデートの確認」を参照してください。
- 21 VRS 基本ライセンスの場合は、[VRS の登録]ダイアログボックスが表示されます(図 8)。また、VRS をインストールせずに Adrenaline SCSI スキャナコントローラのセットアップだけを行う場合も、[VRS の登録]ダイアログボックスが表示されます。

Register VRS		
User Identification	·	
<u>N</u> ame:	User 1	
<u>C</u> ompany:	ABC Company	
<u>E</u> mail:	User1@ABC.com	
Product Identification		
Part Number:	VP - W000 - 0000	
<u>S</u> erial Number:	OPOPERW	
Product Code:	BA86L0000	
VRS Version:	4.10.025	
Scanner:	Scanner A	
Machine ID:	000B-DBD3-0000	
Why Register?	Register Now Skip Registration	

図 8. [VRS の登録] ダイアログ ボックス

- 22 [ユーザーID]では、次の項目を更新することができます。これらのフィールドには、VRSのインストール時に入力した値が設定されていることがあります。
 - 名前:名前を入力します。
 - 会社名:会社名を入力します。
 - E メール:電子メールを入力します。
- **23** [製品 ID] には、VRS のインストール時に入力した値が設定されています。この項目は更新できません。

- 24 次のいずれかを行います。
 - **a** VRS 製品を登録することによって得られる利点についての説明が表示され ます。ダイアログボックスは、[OK] をクリックして終了します。
 - b [今すぐ登録]をクリックして、ライセンスの登録処理を完了します。ライ センスコードとその他のフィールドの入力値が正しければ、確認メッセー ジが表示されます。VRS がライセンスサーバーに接続できない場合は、 [登録 - インターネット未接続]ダイアログボックスが表示されます。こ の場合は、39ページの「インターネット未接続時の VRS 基本ライセンス の登録」を参照してください。
 - C [登録のスキップ]をクリックして、登録処理をスキップします。このオプションを選択すると、確認メッセージが表示されます。[はい]または[いいえ]をクリックします。
- **25** 必要に応じて、VRS Component Installer をダウンロードしてください。VRS Component Installer は、次の両方が適用される場合に必要です。
 - VRSで動作保証されているが、VRSのインストール時にスキャナのリスト に表示されなかったスキャナを使用する場合。
 - VRS インストール時に、[後でスキャナを設定する]チェックボックスを選 択した場合。

メモ 使用するスキャナ用の VRS Component Installer を選択するには、Kofax Web サイトの Support ページから Downloads Library のリンクを参照してください。 詳細は、5ページの「VRS Component Installer」を参照してください。

26 (該当する場合)インストール CD を取り出し、安全な場所に保管します。

インストール後の VRSライセンスのアクティベーション / 登録

ライセンスタイプにより、インストール中にライセンスのアクティベーション (VRS プ ロフェッショナルライセンスの場合)または登録 (VRS 基本ライセンスの場合)を行う よう指示されます。インストール時にこれらを行わない場合は、このセクションの手順 に従ってインストール後に行うことができます。VRS プロフェッショナルライセンス の場合は、次のセクションを参照してください。VRS 基本ライセンスの場合は、30 ページの「インストール後の VRS ライセンスのアクティベーション/登録」を参照 してください。

インストール後の VRS プロフェッショナル ライセンスのアクティ ベーション

ライセンスのアクティベーションを行わずに VRS プロフェッショナル機能をインス トールした場合は、VRS はデモ モードまたは評価モードで実行され、VRS を起動す るたびにメッセージが表示されます。製品をまだ購入していない場合は、VRS はデモ モードで実行されます。デモ モードでは、VRS の全機能を使用することができます が、スキャンされたイメージすべてに Kofax のロゴが挿入されます。製品ライセンス を購入後、まだアクティベーションを行っていない場合は、VRS は評価モードで実行 されます。

デモ モード

VRS をデモ モードで実行すると、スキャンしたイメージに Kofax のロゴが挿入され ることを示すメッセージが表示されます(図 9)。



図 9. VRS デモ モードに関する注意事項

評価モード

VRS プロフェッショナル機能を評価モードで実行すると、VRS を選択するたびに メッセージが表示されます(図 10)。このモードでは、ダイアログボックスに示され ている特定の期間中 VRS の全機能が使用できます。評価期間の完了後、ライセンス がアクティベーションされていないと、VRS はデモ モードに切り替わります。



図 10. [VRS のアクティベーションに関する注意事項] ダイアログ ボックス

▶ VRS プロフェッショナル ライセンスのアクティベーションを行うには

- 1 次のいずれかを行います。
 - [VRS のアクティベーションに関する注意事項]ダイアログボックスで、[今 すぐアクティベーション]をクリックします。
 - Windows の[スタート]メニューから、[すべてのプログラム] [Kofax VRS] [VRS のアクティベーション]を選択します。

★モ VRS をデモモードで実行している場合は、製品を購入しないと、VRS ライセンスのアクティベーションはできません。オンラインで製品を購入す るには、Kofax VRS プログラムフォルダから[今すぐ購入]を選択します。詳 細は、VRS のオンライン ヘルプを参照してください。

2 [VRS のアクティベーション]ダイアログボックスが表示されます(図 11)。

Activate VRS			
User Identification			
<u>N</u> ame:	User 1		
<u>C</u> ompany:	ABC Company		
<u>E</u> mail:	User1@ABC.com		
Please do not contact me with product information.			
 Upgrade from VRS 3.5 to a 4.10 Basic license Enter product identification for a license 			
Product Identifica			
Part Number:	VP - 0000 - 0000 More Info		
<u>S</u> erial Number:	PA12349		
Prod <u>u</u> ct Code:	Q678T2VD		
VRS Version:	4.10		
Scanner:	Scanner A		
Machine ID:	0008-DBD3-3D7A		
If you already have a license code, More Info			
Get License Code			
Activate Cancel Help			

図 11. [VRS のアクティベーション] ダイアログ ボックス

3 ユーザー ID および製品 ID セクションは、VRS インストール時の値を基に既 に入力されている場合があります。必要に応じて、[製品情報を受け取らない] チェックボックスをオンにます。ユーザー ID または製品 ID のいずれかのセクションが未入力の場合は、必要な情報を入力します。製品 ID セクションに必要な情報は、18 ページを参照してください。

- 4 次のいずれかを行い、ライセンスコードを入力します。
 - ライセンスコードを取得いない場合は、[ライセンスコードの取得]をクリックして、Kofax ライセンスサーバーからライセンスコードを取得します。インターネットに接続されていないと、コードを受けとることができません。この場合は、[アクティベーション インターネット未接続]ダイアログボックスが表示されます。インターネットに接続しないでライセンスコードを取得する方法については、次のセクションを参照してください。
 - VRS ライセンスコードを別の方法で取得した場合は、そのライセンスコードを入力し、[アクティベーション]をクリックします。

ライセンスアクティベーションの完了を示す確認ダイアログボックスが表示 されます。

インターネット未接続時の VRS ライセンスのアクティベーション

[VRS のアクティベーション]ダイアログ ボックスから [ライセンス コードの取得]を クリックしたときに、インターネットに接続されていないと、ライセンス コード が取 得できません。別の方法で取得する必要があります。この場合は、[アクティベーショ ン - インターネット 未接続]ダイアログ ボックス (図 12) が表示され、選択できるオプ ションのリスト が表示されます。

Activate - No Internet Connection 🛛 🛛 🔀				
The Kofax license server could not be contacted over the Internet. A license code must be entered manually if no Internet connection is available on this PC.				
You may use another PC connected to the Internet to obtain a license code via email or the Kofax Web site. You may also obtain a license code by fax.				
The following file contains the required licensing information:				
C:\Program Files\Kofax\Imgctls\Activate.txt				
If you request a license code by email, you must attach this file. If you request a license code vis the Web site, you can copy and paste information from the file into the Web page. If you request a license code by fax, print the file and include it with the fax. The license code will be returned to you by email.				
Once you have obtained a license code, enter or paste the license code into the text box labeled "License Code" and click "Activate." You can click "Activate VFS" on the Start Menu to display the activation dialog box later.				
Fax: (from within USA) 949-727-3099 (from outside USA) 001-949-727-3099				
Web site: http://activate.kofax.com/vrs/				
Email: activatevrs@kofax.com				
OK				

図 12. [アクティベーション - インターネット未接続] ダイアログ ボックス

▶ インターネット未接続時の VRS ライセンスのアクティベーション

 [アクティベーション-インターネット未接続]ダイアログボックスでは、イン ターネットに接続せずにライセンスコードを取得する3つの方法が示されます。 どの方法を選択しても、Activate.txtファイルにあるライセンス情報を提供する必 要があります。このファイルのパスは、[アクティベーション - インターネット未接続]ダイアログボックスに表示されています。

- [OK] をクリックして、[アクティベーション インターネット未接続]ダイアロ グボックスを閉じます。
- 3 VRS ライセンスのアクティベーションは、次のいずれかの方法で行ってください。
 - インターネットに接続している別のコンピュータから、activatevrs@kofax.com に電子メールを送ります。この場合、電子メールにActivate.txtファイルを添 付してください。Activate.txtファイルのパスは、[アクティベーション-イン ターネット未接続]ダイアログボックスに表示されています。
 - インターネットに接続している別のコンピュータで、ブラウザを起動して、 http://activate.kofax.com/vrs にアクセスします。アクティベーション中に、 Activate.txt ファイルから情報をコピーして、Web サイトのフォームに貼り付 けてください。Activate.txt ファイルのパスは、[アクティベーション - イン ターネット未接続]ダイアログボックスに表示されています。
 - ダイアログボックスに表示されている番号に FAX します。この場合、 Activate.txt ファイルを印刷したものを FAX してください。Activate.txt ファ イルのパスは、[アクティベーション - インターネット未接続]ダイアログ ボックスに表示されています。

★モ 特に指定しない限り、Activate.txt ファイルで指定された電子メールにラ イセンス コードが送られます。

4 ライセンスコードを取得後、[VRSのアクティベーション]ダイアログボックスの[ライセンスコード]セクションにライセンスコードを入力し、[アクティベーション]をクリックします。

インストール後の VRS 基本ライセンスの登録

VRS 基本ライセンスの場合は、インストール時に登録するよう指示されます。インス トール時にこれを行わなかった場合は、このセクションの手順に従って、登録を行う ことができます。ライセンスを登録することによって、テクニカル サポートおよび製 品のアップデートを利用できるようになります。

▶ VRS 基本ライセンスを登録するには

- Windowsの[スタート]メニューから、[すべてのプログラム] [Kofax VRS] [VRS の登録]を選択します。
- **2** [VRS の登録] ダイアログ ボックスが表示されます (図 13)。

Register VRS	×	
User Identification)	
<u>N</u> ame:	User 1	
<u>C</u> ompany:	ABC Company	
<u>E</u> mail:	User1@ABC.com	
Product Identification		
Part Number:	VP - W000 - 0000	
<u>S</u> erial Number:	OPOPERW	
Prod <u>u</u> ct Code:	BA86L0000	
VRS Version:	4.10.025	
Scanner:	Scanner A	
Machine ID:	000B-DBD 3-0000	
Why Register?	Begister Now Skip Registration	

図 13. [VRS の登録] ダイアログ ボックス

- 3 [ユーザーID]では、次の項目を更新することができます。これらのフィールドには、VRSのインストール時に入力した値が設定されていることがあります。
 - 名前:名前を入力します。
 - 会社名:会社名を入力します。
 - Eメール:電子メールを入力します。
- 4 [製品 ID]には、VRS のインストール時に入力した値が設定されています。この項目は更新できません。
- 5 次のいずれかを行います。
 - a VRS 製品を登録することによって得られる利点についての説明が表示され ます。ダイアログボックスは、[OK] をクリックして終了します。
 - b [今すぐ登録]をクリックして、ライセンスの登録処理を完了します。ライセンスコードとその他のフィールドの入力値が正しければ、確認メッセージが表示されます。VRS がライセンスサーバーに接続できない場合は、 [登録 - インターネット未接続]ダイアログボックスが表示されます。詳細は、次のセクションを参照してください。
 - C [登録のスキップ]をクリックして、登録処理をスキップします。このオプションを選択すると、確認メッセージが表示されます。[はい]または[いいえ]をクリックします。

インターネット未接続時の VRS 基本ライセンスの登録

[VRS の登録] ダイアログ ボックスから [今すぐ登録] をクリックしたときに、イン ターネット に接続されていないと、別の方法で製品の登録を行う必要があります。こ の場合は、[登録 - インターネット未接続] ダイアログ ボックス(図14) が表示され、 選択できるオプションのリストが表示されます。

Register - No Internet Connection		
The Kofax registration server could not be contacted over the Internet. Registration must be performed manually if no Internet connection is available on the computer.		
You may use another computer connected to the Internet to register via email or the Kofax Web site. You may also register by fax.		
The following file contains the required registration information:		
C:\Program Files\Kofax\Imgctls\Register.txt		
If you register by email, you must attach this file. If you register via the Web site, you can copy and paste information from the file into the Web pages. If you register by fax, print the file and include it with the fax.		
Fax: (from within USA) 949-727-3099 (from outside USA) 001-949-727-3099		
Web site: http://activate.kofax.com/vrs/		
Email: <u>activatevrs@kofax.com</u>		
OK Help		

図 14. [登録 - インターネット未接続]ダイアログ ボックス

▶ インターネット未接続時に VRS 基本ライセンスを登録するには

- [登録 インターネット未接続]ダイアログボックスでは、インターネットに 接続せずに製品の登録を行う3つの方法が示されます。どの方法を選択して も、Register.txtファイルにある情報を提供する必要があります。このファイル のパスは、[登録 - インターネット未接続]ダイアログボックスに表示されて います。
- [OK] をクリックして、[登録 インターネット未接続] ダイアログ ボックスを 閉じます。
- 3 インターネットに接続せずに VRS ライセンスの登録を行う場合は、次のいず れかの方法で行ってください。
 - ダイアログボックスに表示されている番号にFAXします。この場合、 Register.txtファイルを印刷したものをFAXしてください。Register.txtファイルのパスは、[登録 - インターネット未接続]ダイアログボックスに表示されます。
 - インターネットに接続している別のコンピュータでブラウザを起動して、 http://activate.kofax.com/vrsにアクセスします。Register.txt ファイルから情報 をコピーして、Web サイトのフォームに貼り付けてください。Register.txt ファイルのパスは、[登録 - インターネット未接続]ダイアログボックスに 表示されます。
 - インターネットに接続している別のコンピュータから、activatevrs@kofax.com に電子メールを送ります。この場合、電子メールに Register.txt ファイルを添 付してください。Register.txt ファイルのパスは、[登録 - インターネット未 接続]ダイアログボックスに表示されます。

VRS ライセンスのアップグレード

VRS 4.1 を有効なライセンスで実行している場合は、[今すぐアップグレード]オプ ションを利用して、よりレベルの高い VRS ライセンスを購入し、アクティベーショ ンを行うことができます。VRS 基本ライセンスから VRS プロフェッショナル ライセ ンスへアップグレードしたり、既存の VRS プロフェッショナル ライセンスから拡張 機能や高速スキャナに対応した別の VRS プロフェッショナル ライセンスにアップグ レードすることができます。

▶ VRS をアップグレードするには

 Windowsの[スタート]メニューから、[すべてのプログラム] - [Kofax VRS] -[今すぐアップグレード]を選択します。[VRSのアップグレード]ダイアログ ボックスが表示されます(図 15)。

Upgrade VRS	\mathbf{X}	
Current License - Level: Workgroup Type: General		
You can upgrade VRS over the Internet. Click "Upgrade Now" below to go to the Web site and purchase an upgrade license.		
	Upgrade Now More Info	
After you purchase a license, the Web site will display product identification information. To install your license, enter that information into the text boxes below and click DK.		
Product Identification		
Part Number:		
Serial Number:		
Prod <u>u</u> ct Code:		
VRS Version:	4.10.025	
Scanner:	Scanner A	
	OK Cancel	

図 15. [VRS のアップグレード] ダイアログ ボックス

- 2 [今すぐアップグレード]をクリックすると、ブラウザが起動し、VRS 製品ライ センスのアップグレードを購入するための Kofax Web サイトが表示されます。
- 3 Web サイトの手順に従って、購入手続きを完了してください。
- 4 処理が完了すると、[VRSのアップグレード]ダイアログボックスの製品IDセクションにコピーする情報が発行されます。次の製品情報は、Webサイトから入手できますが、電子メールでも送られます。
 - パート番号
 - シリアル番号
 - 製品コード

- 5 [VRS のアップグレード]ダイアログボックスの製品 ID セクションに情報をコ ピーして、[OK] をクリックします。
- 6 一部の情報が既に入力された [VRS のアクティベーション]ダイアログボック スが表示されます。[ライセンスコードの取得]ボタンをクリックします。ラ イセンスのアクティベーションが完了すると、確認メッセージが表示され、ダ イアログボックスは閉じます。

ライセンスがアクティベーションされると、新しいライセンスで VRS を使用 できるようになります。

SCSI スキャナ コントローラの取り付け

ここでは、SCSI スキャナ コントローラの取り付け方法を説明します。SCSI スキャナ コントローラを使用しない場合は、このセクションをスキップして、46 ページの「ス キャナの取り付け」に進みます。

▶ SCSI スキャナ コントローラを取り付けるには

1 コンピュータをシャットダウンして、コンセントを外します。

メモ コンセントを外す前に、製造元の手順書に従って静電気を放電してください。

- 2 次のいずれかを行います。
 - Kofax Adrenaline 450、650、または 650i SCSI スキャナ コントローラを使用す る場合は、65 ページの「Adrenaline SCSI スキャナ コントローラのセット アップ」を参照してください。
 - Kofax 以外の SCSI スキャナ コントローラを使用する場合は、製造元の手順 に従って取り付けを行ってください。
- **3** SCSI スキャナ コントローラを取り付けた後は、コンセントを差込み、コン ピュータの電源を入れます。
- 4 Windows XP を使用している場合、互換性メッセージが表示されます。[続行] をクリックして、次のステップに進んでください。
- 5 [マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]-[ハードウェア]-[デバ イスマネージャ]を選択します。
- 6 デバイスのリストから [SCSI と RAID コントローラ]を開いて、SCSI スキャナ コントローラの名前が表示されていることを確認します。Kofax SCSI スキャナ

コントローラの場合、"Kofax Adrenaline <450/650/650i>" という名前が表示され ます。

スキャナの取り付け

コンピュータにスキャナがまだ取り付けられていない場合は、このセクションの手順に 従って、スキャナとコンピュータを正しく接続します。動作保証されているスキャナ ケーブルを使用していることを必ず確認してください。使用できるスキャナケーブル は、Kofax Web サイト (www.kofax.com)の Scanner Configurator から確認できます。

▶ スキャナをコンピュータに接続するには

- 1 コンピュータとスキャナの電源をオフにして、コンセントを外します。
- 2 スキャナ ケーブルをスキャナとコンピュータの適切なポート (SCSI、USB、または FireWire) に付けます。
- 3 スキャナの電源をコンセントに差し込み、スキャナの電源を入れます。
- 4 コンピュータの電源をコンセントに差し込み、コンピュータの電源を入れま す。ここで、新しいハードウェアの検出ウィザードが表示される場合がありま す。その場合は、50ページの「新しいハードウェアの検出ウィザードによる 設定」の手順を参照してください。そうでない場合、スキャニングアプリケー ションをインストールすることで VRS を使用できます。

TWAIN のインストール

VRS で動作保証されたスキャナの TWAINドライバをインストールする必要がある場合、製造元のインストールガイドに従って TWAINドライバをインストールしてください。TWAINドライバは、VRSソフトウェアのインストール前でも後でもインストールすることができます。動作保証されていない(互換性のない)VRSスキャナをインストールするには、3ページの「VRSスキャナ:動作保証されたスキャナとそれ以外のスキャナ」を参照してください。

USB および FireWire のインストール

このセクションでは、USB または FireWire スキャナの一般的なインストール手順と設 定手順を説明します。いくつかのスキャナでは特殊な設定が必要とされるため、製造 元のインストール ガイドも参照してください。

▶ USB または FireWire スキャナを取り付けて、設定するには

- 1 次のいずれかを行います。
 - USB ケーブルをスキャナから USB ポートに接続します。
 - FireWire ケーブルをスキャナから FireWire ポートに接続します。

Windows が新しいデバイスを検出し、新しいハードウェアの検出ウィザードが 表示されます。

- 2 画面の指示に従い、スキャナに付属しているインストール CD の中で必要なド ライバを選択します。
- 3 スキャナが正しく取り付けられていることを確認してください。詳細は、48 ページの「スキャナの接続の確認」を参照してください。
- 4 次の「USB/FireWireドライバインストール後の操作」を確認します。
- 5 スキャニングアプリケーションをインストールします。詳細は、51ページの「スキャニングアプリケーションのインストール」を参照してください。

USB/FireWire ドライバ インストール後の操作

スキャナによっては、イベントが発生したとき、特定の動作を起こすように設計され ているものがあります。たとえば、いくつかのスキャナでは ADF に紙を挿入したと きに Microsoft のイメージング アプリケーションを自動的に起動するように設定され

ています。VRS で最良の結果を得るには、VRS をインストールする前にそのような デバイスのイベントをすべて無効にすることを推奨します。

デバイスのイベントを無効にするには

- Windowsの[スタート]メニューから、[コントロールパネル]-[スキャナとカメラ]を選択します。
- 2 インストールされたデバイスのリストからスキャナを選択し、右クリックメニューから[プロパティ]を選択します。
- 3 [スキャナのプロパティ]ダイアログボックスから、[イベント]タブを選択して、[スキャナのイベント]リストからデバイスのイベントを選択します。
- 4 [動作]リストから、[何もしない]を選択します。
- 5 不要なデバイスのイベントをすべて無効にするまで、ステップ 3-4 を繰り返し ます。

メモ デバイス イベントを復元するには、[何もしない] をクリアします。

6 [適用]、[OK]を選択して、[スキャナのプロパティ]ダイアログボックスを終 了します。

スキャナの接続の確認

次の手順の従って、スキャナが正しく接続されているかどうかを確認します。

▶ スキャナの接続ステータスを確認するには

- 1 Windows のデスクトップから、[マイコンピュータ]を右クリックします。
- [管理]を選択します。

- **3** [コンピュータの管理]で、[デバイスマネージャ]アイコンをダブルクリック します。右側にシステム上のデバイスが表示されます。
- **4** [イメージング デバイス]アイコンをダブルクリックします。
- 5 システムに正常に接続されると、スキャナが[イメージングデバイス]以下に 表示されます。これが表示されない場合は、USB/FireWire ケーブルの接続を確 認するか、コンピュータを再起動します。再起動後、再度デバイスのリストを 確認してください。スキャナの接続に問題がある場合は、製造元に問い合わせ てください。
- 6 [コンピュータの管理]コンソールを閉じます。

新しいハードウェアの検出ウィザードによる設定

このセクションで説明する手順に従って、スキャナをコンピュータに取り付けた後に 表示される、新しいハードウェアの検出ウィザードを完了します。

- ソフトウェアを自動的にインストールするオプションを選択し、[次へ]をク リックします。
- 2 ウィザードが適切なデバイスおよびファイルを検出できない場合は、別の画面 が表示されます。この場合は、[このソフトウェアをインストールする確認を 今後表示しない]オプションを選択して、[完了]をクリックします。
- 3 コンピュータを再起動するオプションを選択します。
- また、Windows 2000 では、次の方法でも可能です。
 - 新しいハードウェアの検出ウィザードが表示されたら、VRS インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。ソフトウェアを自動的にインストールす るオプションを選択し、「次へ」をクリックします。
 - **2** CD-ROM ドライブを検索するオプションを選択します。
 - デバイスを無効にするオプションを選択し、[完了]をクリックします。その 後、コンピュータを再起動するオプションを選択します。

スキャニング アプリケーションのインストール

このセクションの手順に従って、VRS が使用するスキャニング アプリケーションを インストールします。

メモ 必要な場合、Kofax VCDemo または Scan Demo (VRS に含まれる ImageControls ベースのデモ スキャニング アプリケーション)を使用して、小容量のスキャニング を実行することも可能です。VCDemo は、VRS のインストール時に自動的にインス トールされます。VCDemo に関する詳細は、85 ページの「VCDemo の起動」を参照し てください。Scan Demo は、VRS インストール CD に含まれています。オンラインで 購入した場合は、インストール フォルダにあります。

スキャニングアプリケーションをインストールするには

- 製造元のインストールガイドに従って、ImageControlsベース、TWAIN、または ISIS スキャニング アプリケーションをインストールします。
- サンプルドキュメントをいくつかスキャンして、アプリケーションが正常に 動作していることを確認します。

★モ 他の Kofax 製品と併せて ImageControls ベースのアプリケーションをインストールする場合は、10ページの「インストールに関する注意事項」を参照してください。

製品アップデートの確認

ライセンスを購入すると、VRS 製品の拡張機能を利用できます。VRS プロフェッショナル ライセンスがアクティブな場合、アップデートの有無をチェックし、ダウンロードすることが可能です。

VRS のインストールの最後に、VRS アップデート マネージャが自動的に起動されま す。デフォルトでは、その後、6週間ごとに起動されます。製品のアップデートを確 認するには、次の2つの方法があります。

- 通常のスケジュールにより、VRSアップデートマネージャが自動的に表示される際に、製品のアップデートを確認する。
- VRS アップデート マネージャを手動で起動し、製品のアップデートを確認する。

★モ [アップデートの確認]機能は、VRS 製品のアップデートを対象にしています。 VRS Component Installer の確認は、Kofax Web サイトの製品ページで参照してください。

アップデートの自動確認

デフォルトでは、VRS アップデート マネージャは、6 週間ごとに自動的に起動されま す。VRS アップデート マネージャが起動されると、VRS 製品のアップデートを確認 するよう指示されます。利用可能なアップデートがある場合は、ダウンロードし、イ ンストールするよう指示されます。アップデートの自動確認が有効な場合、指定した 間隔の後、VRS で使用可能なスキャニング アプリケーションを閉じてから、VRS アップデート マネージャは初めて表示されます。 デフォルトでは、VRS アップデート マネージャは、6 週間ごとに自動的に起動されま すが、[オプション]ダイアログ ボックスを使用して、2 週間ごとや3 週間ごとなど、 異なる間隔を指定することもできます。また、アップデートの自動確認を無効にする こともできます。アップデートの自動確認が有効な場合、VRS アップデート マネー ジャは、指定した日の午前8時に起動されます。指定された日時にコンピュータが動 作していない場合、VRS アップデート マネージャは、次回コンピュータが立ち上が るときに起動されます。

アップデートの自動確認を無効にすると、VRS アップデート マネージャは、手動で 起動するまで表示されません。VRS アップデート マネージャは、Windowsの[ス タート]メニューから、[すべてのプログラム] – [Kofax VRS] から手動で起動するこ とができます。[オプション]ダイアログ ボックスの設定に関する詳細は、VRS オン ライン ヘルプを参照してください。

アップデートの手動確認

Kofax VRS プログラム フォルダから [アップデートの確認]オプションを選択するこ とにより、いつでも VRS アップデート マネージャを起動することができます。アッ プデートの自動確認を無効にする場合や、任意の間隔でアップデートの確認を行う場 合に役立ちます。

アップデートの確認、ダウンロード、およびインストール

VRS アップデート マネージャから [今すぐ確認]を選択すると、マシン上の VRS ソ フトウェアがチェックされ、まだインストールされていない製品アップデートの一覧 が表示されます。各アップデートの説明、ファイル サイズ、通常のダウンロード時間 (実際の時間は異なることがあります)も表示されます。VRS 製品のアップデートは 累積されます。複数のアップデートが表示された場合、最新のアップデートには、それ以前のすべてのアップデートが含まれています。

★モ 適用可能なアップデートをインストールする場合、インストールする前に、既存の VRS 製品アップデートは削除されます。

VRS 製品のアップデートをダウンロードし、インストールするには、管理者権限が必要です。

製品のアップデートをダウンロードしても、すぐにインストールしない場合、ダウン ロードした場所を控えておいてください。VRS アップデート マネージャは、次回起 動時に、前回アップデートがダウンロードされたことを記憶していません。

🕑 VRS Update Manager	
The VRS Update Manager will now check to determine if any updates are a computer is connected to the Internet. If not, please use another computer t information.	available. This check will only work if this to visit the Kofax Web site for update
Qptions	Check Now Close

図 16. [VRS アップデート マネージャ] ダイアログ ボックス

▶ VRS 製品アップデートの確認、ダウンロード、およびインストールをするには

1 次のいずれかを行います。

自動アップデート

 VRS アップデート マネージャから [今すぐ確認]をクリックします。[VRS アップデート マネージャ:利用可能なアップデート]ダイアログ ボックスが 表示されます。

手動アップデート

- Windows の[スタート]メニューから、[すべてのプログラム] [Kofax VRS] - [アップデートの確認]を選択し、[今すぐ確認]をクリックします。
- 2 利用可能な製品のアップデートは、[VRS アップデート マネージャ:利用可能 なアップデート]ダイアログボックスで確認できます。次のいずれかを行いま す。
 - ダウンロードし、インストールする製品のアップデートに対応するチェック ボックスを選択します。1つ選択すると、リストにある他の製品アップデー トはグレー表示になります。
 - [利用可能なアップデート]リストに製品のアップデートが表示されない場合は、[閉じる]をクリックして、VRS アップデートマネージャを終了します。
- 3 [ダウンロード]をクリックします。ダウンロード中は、処理状況が表示されます。処理が完了すると通知され、ダウンロードしたアップデートの場所を示すメッセージが表示されます。

ダウンロードは、[キャンセル]をクリックして、いつでも中止することがで きます。

★モ 製品のアップデートをダウンロードし、インストールするには、管理者 権限が必要です。

- 4 次のいずれかを行います。
 - [インストール]をクリックして、新しくダウンロードしたアップデートのインストールを開始します。画面の指示に従ってください。
 - [閉じる]をクリックすると、ダウンロードしたアップデートをインストール せずに VRS アップデート マネージャを終了します。この際、後でアップ デートをインストールできるように、ダウンロードした場所を控えておいて ください。VRS アップデート マネージャは、次回起動時に、前回アップ デートがダウンロードされたことを記憶していません。

製品アップデートのアンインストール

VRS 製品のアップデートをインストールすると、[プログラムの追加と削除]の[現 在インストールされているプログラム]リストに、VRS とは別に表示されます。VRS 製品アップデートをアンインストールしても、VRS はそのまま残ります。ただし、 VRS をアンインストールすると、関連するすべての製品アップデートは自動的に削除 されます。

VRS インストール後のテスト

はじめに

VRS をインストールしたら、使用する前に必ず動作確認をしてください。VRS では、 ImageControls、ISIS、または TWAIN ベースのスキャニング アプリケーションを使用で きます。この章では、VCDemo (ImageControls ベース)、QuickScan Pro (ISIS ベース)、 そして Microsoft Office Document Scanning (TWAIN ベース)という3つのスキャニング アプリケーションを使用して VRS をテストする方法について説明します。

ImageControls アプリケーションを使用した VRS のテスト

VCDemo は、VRS に含まれている ImageControls ベースのデモ アプリケーションで す。次の手順に従って、VCDemo を使用して VRS をテストします。詳細は、85 ペー ジの「VCDemo の起動」を参照してください。

▶ VCDemo から VRS を選択するには

- 1 スキャナの電源を入れて、スキャンするドキュメントをセットします。
- 2 コンピュータの電源を入れます。
- **3** Windows の [スタート]メニューから、[すべてのプログラム] [Kofax VRS] を 選択して、VCDemo を起動します。
- **4** [Source] メニューから [Scanner] を選択します。[Select Scan Source] ダイアログ ボックスが表示されます。
- 5 [Source] リストから次のスキャンソースを選択します。 <My Scanner > with SVRS (<My Scanner> はスキャナの製造元およびモデルです)

Select Scan Source
Source
My Scanner with SVRS
<u>QK</u> <u>Cancel</u> <u>Properties</u> <u>Advanced</u>

図 17. [Select Scan Source] ダイアログ ポックス - VCDemo

✓モ VRS で使用するスキャナによって、インストール時に作成されるソースのリストは異なります。

[OK] をクリックします。
 Windows タスクバーに VRS アイコンが表示されます(図 18)。



- 図 18. Windows タスクパーの VRS アイコン
- 7 VCDemoの[Source]メニューから[Process Image]を選択するか、またはCtrl+I を押します。スキャンが成功したら、VRSを使用する準備完了です。 詳細は、PDF形式の「VRS ユーザーズガイド」を参照してください。ユー ザーズガイドは、VRSの[ヘルプ]メニュー、インストールCD、またはイン ストールフォルダから参照できます。

ISIS アプリケーションを使用した VRS のテスト

次の手順に従って、ISIS スキャニング アプリケーション (QuickScan Pro)を使用して VRS をテストします。

▶ QuickScan Pro から VRS を選択するには

- スキャナの電源を入れて、スキャンするドキュメントをセットします。
- **2** コンピュータの電源を入れます。
- 3 QuickScan Pro を起動します。
- 4 [スキャン]メニューから[スキャナの選択]を選択します。[スキャナの選択]ダ イアログボックスが表示されます。
- 5 [スキャナの選択]ダイアログボックスから [Kofax VRS Scanner]を選択して、 [OK]をクリックします。

Scanner Selection	X
<u>S</u> canner:	ОК
Kofax VRS Scanner Scanner Model A Scanner Model B Scanner Model C Scanner Model D Scanner Model F	Cancel Se <u>t</u> up
,	

図 19. スキャン ソースの選択

6 VRS がアクティブになり、Windows タスクバーに VRS アイコンが表示されます(図 20)。



図 20. Windows タスクパーの VRS アイコン

- 7 [スキャン]メニューから[新しいバッチ]を選択します。
- 8 Kofax VRS ISIS インターフェイスが起動します。プロファイルとその他の設定 を選択してから[スキャン]をクリックすると、スキャンが開始されます。ス キャンが成功したら、VRS を使用する準備完了です。 詳細は、PDF 形式の「VRS ユーザーズ ガイド」を参照してください。ユー ザーズ ガイドは、VRS の[ヘルプ]メニュー、インストール CD、またはイン ストール フォルダから参照できます。

TWAIN アプリケーションを使用した VRS のテスト

次の手順に従って、TWAIN アプリケーション (Microsoft Office Document Scanning) を 使用して、VRS をテストします。

メモ Windows XP では、Microsoft Office 2003 でインストールされる Microsoft Office Document Scanning および Microsoft Office Document Imaging で VRS をテストすること ができます。これらのアプリケーションは、両方とも TWAIN アプリケーションで す。Windows 2000 では、Microsoft イメージング (TWAIN アプリケーション) で VRS をテストすることができます。

▶ Microsoft Office Document Scanning を使用して VRS をテストするには

- 1 スキャナの電源を入れて、スキャンするドキュメントをセットします。
- コンピュータの電源を入れます。
- Windowsの[スタート]メニューから、[すべてのプログラム] [Microsoft Office] – [Microsoft Office ツール] – [Microsoft Office Document Scanning]を選 択します。スキャニング インターフェイスが起動します。
4 [スキャナ]をクリックして、[スキャナの選択]ダイアログボックスを表示します。

Choose Scanner
<u>S</u> canner:
Kofax Software VRS - TWAIN
✓ Use automatic document feeder ☐ Show scanner griver dialog before scanning
OK Cancel Help

図 21. [スキャナの選択]ダイアログ ボックス

- **5** [Kofax Software VRS TWAIN] スキャン ソースを選択して、[OK] をクリックします。
- 6 [スキャン]をクリックします。
- 7 [スキャナドライバを起動しています]ダイアログボックスが表示されたら [OK]をクリックします。Kofax VRS TWAIN インターフェイスが起動します。

8 VRS がアクティブになり、Windows タスクバーに VRS アイコンが表示されま す(図 22)。



図 22. Windows タスクバーの VRS アイコン

- **9** VRS TWAIN インターフェイスで設定してスキャナをロードし、スキャンする ドキュメントをセットします。
- 10 [スキャン]をクリックして、スキャンを開始します。Microsoft Office Document Scanning のウィンドウに、スキャンされたページが表示されます。 詳細は、PDF形式の「VRS ユーザーズ ガイド」を参照してください。ユー ザーズ ガイドは、VRS の[ヘルプ]メニュー、インストール CD、またはイン ストール フォルダから参照できます。

Adrenaline SCSI スキャナ コントローラのセットアップ

はじめに

この章では、Adrenaline SCSI スキャナ コントローラのセットアップとテストに必要な 情報について説明します。(Kofax 製以外のスキャナ コントローラを使用する場合は、 製造元の手順書に従ってセットアップを行ってください。)

推奨する Kofax Adrenaline SCSI スキャナ コントローラのセットアップ方法は以下のとおりです。

- **1** ソフトウェアのインストール(次のセクションを参照)
- 2 SCSI スキャナコントローラの取り付け (66 ページの「SCSI スキャナコント ローラの取り付け」を参照)
- 3 ソースの作成と設定(68ページの「スキャンソースの作成と設定」を参照)
- 4 取り付け後のテスト (68 ページの「VCDemo を使用したテスト」を参照)

ソフトウェアのインストール

Adrenaline SCSI スキャナ コントローラに必要なファイルとドライバをインストールす るには、第2章の「VRS のインストール手順」に従ってください。VRS ソフトウェ アをインストールせずに、スキャナ コントローラのセットアップだけを行う場合は、 以下に示すように、インストール手順が多少異なります。

- VirtualReScan セットアップ初期画面が表示されたら、Adrenaline SCSI コント ローラのみインストールオプションを選択して、[次へ]をクリックします。
- [ユーザー ID]、[製品 ID]、および [VRS のアクティベーション] 画面に関連する 手順はスキップします。

VRS ソフトウェアをインストールせずに、Adrenaline SCSI スキャナコントローラの セットアップだけを行う場合の例外についても、第2章の手順で説明されています。

SCSI スキャナ コントローラの取り付け

ここでは、Adrenaline SCSIスキャナコントローラの取り付け手順について説明します。

注意

Adrenaline SCSI スキャナコントローラを取り扱う際には、次の点に注意してください。

- 取り付けを行うまでは、購入時のボックスに入れて保管します。
- コントローラを取り付ける前に、コンピュータをシャットダウンして、コンセン トを外します。
- コントローラに触れる前に、コンピュータなど金属のものに触って静電気を放電します。
- コントローラを取り扱うときは、端を持ち、金属面には触れないようにします。

▶ SCSI スキャナ コントローラを取り付けるには

コンピュータの電源がオフになっており、コンセントが外れていることを確認します。

★モ コンセントを外す前に、製造元の手順書に従って静電気を放電してください。

- 2 約10秒間待ってから、コンピュータのカバーを外します。
- 3 SCSIスキャナコントローラを PCIスロット に取り付けます (8ページの「PCIス ロットの要件」を参照)。



図 23. Adrenaline SCSI スキャナ コントローラのセットアップ

- 4 コンピュータのカバーを元に戻し、コンピュータの電源を入れます。
- 5 ここで、新しいハードウェアを検出し、適切なドライバを検索するメッセージが 表示されます。ドライバは自動的にロードされます。
- 6 これで、Adrenaline SCSIスキャナコントローラが使用できるようになりました。

スキャン ソースの作成と設定

スキャニング アプリケーションを使用する際には、毎回、Adrenaline SCSI スキャナ コントローラに関連付けられているスキャン ソースを選択する必要があります。

セットアップ時に表示されたリストからスキャナを選択した場合は、スキャンソース が既にインストールされており、スキャニングアプリケーションから選択することが できます。必要に応じて、スキャナ設定ユーティリティでこのソースの設定を更新で きます。詳細は、77ページの「スキャナ設定ユーティリティ」を参照してください。

セットアップ時にスキャナがリストに表示されなかった場合は、[後でスキャナを設 定する]チェックボックスをオンにしてインストールされています。この場合は、ス キャナ設定ユーティリティでスキャナと Adrenaline SCSI スキャナ コントローラで使 用するスキャン ソースを作成する必要があります。詳細は、77 ページの「スキャナ 設定ユーティリティ」を参照してください。

VCDemo を使用したテスト

VCDemo を使用して、セットアップした Adrenaline SCSI スキャナ コントローラをテ ストできます。VCDemo ツールバーおよびメニューに関する詳細は、85 ページの 「VCDemo の起動」を参照してください。

VRS のアンインストール

はじめに

この章では、VRS および関連したコンポーネントをアンインストールする方法につい て説明します。VRS のアンインストール時に、VRS ライセンスのアクティベーショ ン解除を実行するよう指示されます。後で VRS を同じコンピュータに再インストー ルする場合を除き、ライセンスのアクティベーションを解除してください。また、既 存の VRS プロファイルを削除するかどうかを確認するダイアログも表示されます。

VRS と関連したコンポーネントのアンインストール

このセクションでは、Windows のコントロール パネルにある [プログラムの追加と削除] から、VRS と関連したコンポーネントをアンインストールする方法について説明 します。

★モ Ascent Capture 7.x の一部として VRS をインストールした場合は、[プログラムの追加と削除]リストに VRS は表示されません。Ascent Capture をアンインストールすると、VRS も自動的にアンインストールされます。詳細は、「Ascent Capture/Ascent Capture Internet Server インストールガイド」を参照してください。

[プログラムの追加と削除]から VRS 製品アップデート、サービス パック、Component Installer をアンインストールしても、VRS はそのまま残ります。ただし、VRS をアン

インストールすると、関連するすべての製品アップデート、サービスパック、 Component Installer は削除されます。

VRS をアンインストールするには

- Windowsの[スタート]メニューから、[コントロールパネル]-[プログラムの 追加と削除]を選択します。
- **2** [現在インストールされているプログラム]の一覧から、"Kofax VirtualReScan 4.10"を選択します。
- **3** [変更]をクリックします。VRSと関連したコンポーネントをアンインストール する、ウィザードが起動します。
- 4 [ようこそ] 画面が表示されます。[次へ]をクリックして、VRS のアンインストールを続行します。
- 5 VRSの再インストールまたはアンインストールの確認メッセージで、[削除]を 選択して、[次へ]をクリックします。
- 6 アンインストールする VRS コンポーネントを選択するよう指示されます (図 24)。

🖟 Kofax VirtualReScan 4.10 - InstallShield Wizard					
Select Components For Uninstall Please select the components you wish to uninstall.					
	¥R5 4.10	Check the box in order to remove VRS 4.10.			
	Kofax TWAIN Data Source	Check the box in order to remove KTDS.			
	.NET Framework	Check the box in order to remove Microsoft .NET Framework.			
	Scanner Component Installer(s)	Check the box in order to remove the Scanner Component Installer(s).			
	Rainbow Sentinel System Driver	Check the box in order to remove the Rainbow Sentinel Driver.			
	ASPI Drivers	Check the box in order to remove the ASPI Drivers.			
Te stall Chiefd					
u istalioniela –		< Back Next > Cancel			

図 24. VRS コンポーネント リスト

アンインストールするコンポーネントのチェックボックスをオンにして、[次 へ]をクリックします。

次の点に注意してください。

 リストから VRS 4.10 コンポーネントを選択すると、既存の VRS Component Installer もアンインストールされます。VRS 4.10 をアンインストールせずに VRS Component Installer をアンインストールする場合は、[VRS 4.10] チェッ クボックスをオフにしてから、[スキャナ コンポーネント インストーラ] チェックボックスをオンにします。

- リストから VRS 4.10 コンポーネントを選択すると、既存の VRS サービス パックもアンインストールされます。VRS 4.10をアンインストールせずに VRS サービス パックをアンインストールする場合は、ウィザードを中止します。その後、[プログラムの追加と削除]の[現在インストールされているプログラム]の一覧から VRS サービス パックを選択して、再度アンインストールを行うと、サービス パックをアンインストールしても VRS はそのまま残ります。
- デフォルトでは、Microsoft .NET Framework コンポーネントは選択されていま せん。コンピュータ上のどのアプリケーションでも確実に使用していない場 合を除き、Microsoft .NET Framework はアンインストールしないでください。
- リストから VRS 4.10 コンポーネントを選択すると、既存の VRS 製品アップ デートとサービス パックもアンインストールされます。
- 7 [プログラムの削除]ダイアログボックスが表示されます。[削除]をクリックしてアンインストールを開始します。

インストールウィザードによって、指定されたコンポーネントがアンインス トールされます。さらに、VRSのインストール時に選択したスキャナのドラ イバを削除する確認するメッセージが表示されることがあります。画面の指示 に従って、確認メッセージで[はい]をクリックしてください。

- 8 VRS 4.10 のアンインストールを選択した場合は、製品を再インストールする かどうかを確認するダイアログが表示されます。
 - [はい]を選択すると、製品ライセンスのアクティベーションを解除する必要はありません。
 - [いいえ]を選択すると、[VRSのアクティベーション解除]ダイアログボックスが表示され、VRS 製品ライセンスのアクティベーションを解除するように指示されます(図 25)。

Deactivate VRS				
You must deactivate your VRS license on this machine in order to activate that license on another machine.				
You need not deactivate your license in order to uninstall and reinstall VRS on the same machine.				
License to deactivate:				
(Please save your license information before deactivating.)				
Part Number: VP-0000-0000 Serial Number: OPEPERD Product Code: HK34L0000				
Do you want to deactivate this license?				
Yes No Help				

図 25. [VRS のアクティベーション解除] ダイアログ ポックス

- **9** [VRSのアクティベーション解除]ダイアログボックスから、次のいずれかを 行います。
 - [はい]をクリックして、VRS ライセンスのアクティベーションを解除します。後でこのライセンスとシリアル番号を使って別のコンピュータでアクティベーションを行う場合、またはこのライセンスの使用を停止する場合は、このオプションを選択します。[はい]をクリックした後に[アクティベーション解除の失敗]ダイアログボックスが表示された場合は、別の方法でライセンスのアクティベーションを解除する必要があります。詳細は、74ページの「インターネット未接続時の VRS ライセンスのアクティベーション解除」を参照してください。
 - ライセンスをアクティブなままにする場合は、[いいえ]をクリックします。
 後でこのライセンスとシリアル番号を使って同じコンピュータに再インストー

ルする場合は、このオプションを選択します。また、インターネットに接続されていないために、後でアクティベーションを解除する場合も、このオプションを選択します。この場合は、74ページの「インターネット未接続時の VRS ライセンスのアクティベーション解除」を参照してください。

- **10** VRS または Adrenaline に関連するファイルを削除するかどうかを確認するダイア ログが表示されたら、次のいずれかを行います。
 - [はい]をクリックして、ユーザー定義のプロファイルや関連するその他の ファイルを含む、すべての VRS プロファイルを削除します。
 - [いいえ]をクリックして、ユーザー定義のプロファイルや関連するその他のファイルを残します。
 どちらを選択しても、デフォルトプロファイルは削除されます。
- VirtualReScan および関連したコンポーネントのアンインストールが完了すると、 確認メッセージが表示され、コンピュータを再起動するよう指示されます。 次の2つの操作を行ってください。
 - •[完了]をクリックしてメッセージを閉じます。
 - コンピュータを再起動して、VRSコンポーネントのアンインストールを完了します。

インターネット 未接続時の VRS ライセンスのアクティベーション解除

前のセクションで説明したように、ライセンスのアクティベーション解除は、通常、 VRS 製品のアンインストール時、または Windows の [スタート]メニューから、[すべて のプログラム] - [Kofax VRS] - [VRS のアクティベーション解除]を選択して行います。 インターネットに接続している場合は、Kofax ライセンス サーバーと通信することに よって、ライセンスのアクティベーションを解除することができますが、インターネッ トに接続されていない場合は、別の方法で製品ライセンスのアクティベーションを解除 する必要があります。

この場合、インターネットに接続している別のコンピュータから、ライセンス サーバー と通信するか、アクティベーション解除の申請を電子メールまたは FAX で送ります。

▶ インターネット 未接続時に VRS ライセンスのアクティベーションを解除するには

 [アクティベーションの解除 - インターネット未接続]ダイアログボックスでは、 インターネットに接続せずにアクティベーションを解除する3つの方法が示され ます。どの方法を選択しても、Deactivate.txtファイルにあるライセンス情報を提 供する必要があります。このファイルのパスは、[アクティベーションの解除 -インターネット未接続]ダイアログボックスに表示されています(図26)。

Deactivate - No Internet Connection					
Could not contact the Kofax license server over the Internet. (You may select "Do not Deactivate" below to cancel deactivation.)					
If you have no Internet connection on this PC, you may complete deactivation on another PC via email or the Kofax Web site. You may also complete deactivation by fax. If you choose to deactivate, the following file containing the required license information will be created:					
C:\Program Files\Kofax\Imgctls\Deactivate.txt					
If your equaest desclusions by enally your must attach this file. If your equaet deadivision is the Web aite, you can copy and patiest information from the into the Web page. If you request deactivation by fax, print the file and include it with the fax. A deactivation confirmation will be returned to you by enail.					
Fax: (from within USA) 949-727-3099 (from outside USA) 001-949-727-3099					
Web site: http://activate.kofax.com/vrs/					
Email: activatevrs@kofax.com					
 Deactivate and save license information Do not deactivate 					
ОК Нер					

図 26. [アクティベーションの解除 - インターネット 未接続]ダイアログ ポックス

- 2 次のいずれかを選択します。
 - アクティベーションを解除して、ライセンス情報を保存する:
 VRS ライセンスのアクティベーションを解除して、ライセンス情報をファイル (deactivate.txt) に保存します。このファイルは、後でアクティベーションの解除を完了するのに必要です。このオプションを選択すると、ローカルコンピュータのライセンスのアクティベーションが解除されたときに、確認メッセージが表示されます。
 - アクティベーションを解除しない:
 アクティベーションの解除を中止して、VRS ライセンスをアクティベーション状態のままにします。
- 3 [OK] をクリックして、ダイアログ ボックスを閉じます。
- 4 VRS ライセンスのアクティベーションを解除する場合は、次のいずれかの方 法で行ってください。
 - ダイアログボックスに表示されている番号にFAXします。この場合、 Deactivate.txtファイルを印刷したものをFAXしてください。
 - インターネットに接続している別のコンピュータでブラウザを起動して、 http://activate.kofax.com/vrsにアクセスします。Deactivate.txtファイルから情報をコピーして、Webサイトのフォームに貼り付けてください。
 - インターネットに接続している別のコンピュータから、activatevrs@kofax.com に電子メールを送ります。この場合、電子メールにDeactivate.txtファイルを添 付してください。Deactivate.txtファイルのパスは、[アクティベーションの解 除 - インターネット未接続]ダイアログボックスに表示されます。
- 5 アクティベーション解除を申請すると、Kofaxから確認メッセージが届きます。 特に指定しない限り、確認メッセージは、Deactivate.txtファイルに記載されている電子メール宛てに送られます。

スキャナ設定ユーティリティ

はじめに

Kofax スキャナ設定ユーティリティを使用して、スキャンおよびイメージ デバイス用 のソースを作成し設定することができます。また、デフォルトの VRS スキャナも設 定することができます。スキャナ設定ユーティリティは、Kofax VRS プログラム フォ ルダから利用できます。

スキャニング アプリケーションから、スキャン ソースを選択することで、スキャン 時に適切なドライバが使用されます。スキャニング アプリケーションで VRS を実行 するには、VRS スキャン ソースを選択する必要があります。

VRS または Adrenaline SCSI スキャナ コントローラを使用する場合は、スキャナを選 択すると、スキャニング アプリケーションでいくつかのスキャン ソースをすぐに利 用できます。VRS Component Installer をインストールした場合も、スキャン ソースを 利用できます。したがって、ほとんどの場合、スキャナ設定ユーティリティを使用し てスキャン ソースを作成する必要はありません。

次の状況のいずれかの場合は、スキャナ設定ユーティリティを使用して、スキャン ソースを追加する必要があります。

VRS と互換性はあるが、VRS の動作が保証されていないスキャナを使用する場合。スキャナを使用する場合。詳細は、このガイドの3ページの「VRS スキャナ:動作保証されたスキャナとそれ以外のスキャナ」を参照してください。

 互換性のあるスキャナで Kofax Adrenaline SCSI スキャナ コントローラ (VRS なしで)使用しており、「<XYZ Scanner> without SVRS」という名前のデフォルト ソース以外にソースを作成したい場合。

スキャナ設定ユーティリティでは、次の操作ができます。

- スキャンソースを作成し設定します。
- スキャナを選択して、デフォルトの VRS スキャナに設定します。
- スキャナを VRS のデフォルト設定に戻します。
- ソースのプロパティを設定します。
- インポートするソースを作成し、管理します。

★モ 以前のバージョンの VRS では、Kofax Source Manager (KSM) ユーティリティと Restore Default Values (RDV) ユーティリティを使用して、スキャン ソースを設定し、 VRS のデフォルト設定を適用していました。VRS 4.1 で KSM を使用すると、自動的 にスキャナ設定ユーティリティに変更されます。また、VRS 4.1 をインストールする と、RDV ユーティリティは自動的に削除されます。

スキャン ソースの設定

スキャナ設定ユーティリティでは、さまざまな方法でソースを作成し設定することが できます。このセクションでは、最も簡単で一般的なスキャン ソースの設定方法につ いて説明します。詳細は、スキャナ設定ユーティリティから[ヘルプ]をクリックし て、ヘルプ ファイルを参照してください。

スキャン ソースを設定するには

- Windowsの[スタート]メニューから、[すべてのプログラム] [Kofax VRS] -[スキャナ設定ユーティリティ]を選択します。
 - [スキャナ設定ユーティリティ]ダイアログボックスが表示されます(図27)。

🙋 Scanner Configuration Utility				
<u>A</u> vailable image devices:				
🖃 🗁 Scanners		<u>S</u> et as Default		
Avision Avision				
		Configure Sources		
🗉 🫅 Epson		Bestore VBS Defaults		
🖻 🧰 Fujitsu	=			
Inolec Kodak		<u>R</u> efresh List		
🗈 🫅 Panasonic	6			
🗎 🧰 Ricoh		Heip		
E Cher	× .			
	<u>></u>	Close		
Limit scanner list to:				
✓RS-certified scanners	Scanners by <u>m</u> anufa	cturer:		
Scanners with configured sources	All	~		
Current default scanner: Scanner A				
Current default source: Scanner A with SVRS				

図 27. [スキャナ設定ユーティリティ]ダイアログ ボックス

- 2 スキャナリストを展開して、ソースを設定するスキャナを選択し、[デフォルトに設定]をクリックします。 次の処理が実行されます。
 - 選択したスキャナにソースが存在しない場合は、標準のVRSソースが自動的に作成され、設定されます。選択したスキャナに1つまたは複数のソースが存在する場合は、ソースは作成されません。
 - 選択したスキャナにデフォルト ソースが設定されていない場合は、デフォルト ソースが自動的に設定されます。デフォルト ソースは、ライセンスによって決まります。デフォルト ソースが存在する場合は、既存のデフォルト ソースは変更されません。
 - 選択されたスキャナの VRS のデフォルト設定は、VRS ソフトウェア内で適用されます。
- 3 [スキャナ設定ユーティリティ]ダイアログボックスは更新され、デフォルト のスキャナとソースがウィンドウの下部に表示されます。
- 4 [閉じる]をクリックして、スキャナ設定ユーティリティを終了します。 新しく作成されたソースをスキャニングアプリケーションから利用できます。

VRS のデフォルト設定の復元

VRS のデフォルト設定は、調整することなく、幅広いドキュメントを処理することが できるように選択されています。VRS を使用するにつれ、デフォルト設定が誤って変 更されてしまうことがあります。スキャナ設定ユーティリティを使用して、選択した デバイスを VRS のデフォルト設定に戻し、デフォルトの VRS スキャン ソースに設定 することができます。 ★モ 以前のバージョンの VRS では、Restore Default Values (RDV) ユーティリティを 使用して、VRS のデフォルト設定にリセットしていましたが、VRS 4.1 では、RDV ユーティリティを使用しません。

▶ VRS のデフォルト設定に戻すには

- 1 [スキャナ設定ユーティリティ]ダイアログボックスの[利用可能なイメージン グデバイス]リストで、VRS 用に設定したスキャナを参照します。
- 2 リストからスキャナを選択します。
- 3 [VRS のデフォルトに戻す]をクリックします。

✓モ VRSのデフォルト設定に戻す機能は、選択したスキャナ用のソースが設定されている場合にのみ利用可能です。

ダイアログボックスの下部にある [現在のデフォルトスキャナ]と [現在のデ フォルトソース]が更新されます。VRS を起動すると、VRS 調整コントロー ルのパネルも元の VRS のデフォルト設定に更新されます。

4 [閉じる]をクリックして、スキャナ設定ユーティリティを終了します。

VRS 非インタラクティブ モード

はじめに

VRS のインストール中に、特定のスキャナに対して VRS を非インタラクティブ モー ドで実行するよう設定できます。このモードは、スキャン中に VRS をバックグラウ ンドで実行し、VRS ユーザー インターフェイスを表示しない場合に使用します。

インタラクティブ モードへの切り替え

VRS を非インタラクティブ モードに設定した場合、次の方法でインタラクティブ モードに切り替えることができます。

▶ 非インタラクティブ モードをインタラクティブ モードに切り替えるには

- **1** VRS タスクバー アイコンを右クリックします。
- 2 VRS タスクバーメニューから [QC モード] [エラー時]を選択して、非イン タラクティブ モードをオフにします。
- 3 さらに、VirtualReScan 管理ユーティリティを使用して、ハードウェアの問題の対処方法を設定することもできます。詳細は、「VRS ユーザーズガイド」の 第3章を参照してください。

VCDemo の起動

はじめに

Kofax VCDemo は、イメージのスキャン、インポート、およびイメージ 処理操作を行うことができるデモ アプリケーションです。すべての VRS と Adrenaline SCSI スキャ ナコントローラに含まれています。VCDemo を使用してテストを行うことができます。

この付録では、VCDemoの概要、および VCDemoのメニューやツールバーについて 説明します。

✓モ VCDemoは、デモやテストに適していますが、大容量のスキャナ環境で使用するようには設計されていません。

VCDemo の起動

▶ VCDemo を起動するには

 Windowsの[スタート]メニューから、[すべてのプログラム] - [Kofax VRS] -[VCDemo]を選択します。VCDemo アプリケーションが表示されます(図 28)。



図 28. VCDemo のメイン画面

- 2 イメージをスキャンするか、またはディスクからイメージをインポートするには、次の操作を行います。
 - a スキャンを行う場合、スキャナが接続されており、電源が入っていること を確認してください。[Source]メニューから [Scanner] を選択して、スキャ ナ ソースを選択し、[OK] をクリックします。
 - b ディスクからイメージをインポートするには、[Source] メニューから [File Import] を選択します。インポートするソースを選択して、[OK] をクリック します。
- 3 イメージを表示するには(ソースデバイスは必要ありません)、[File]メニューから[Open]を選択します。[Open]ダイアログボックスからファイルを選択して、[OK]をクリックします。
- 4 サンプルアプリケーションのメイン画面からアクセスできるツールバーやメニューを使用して、操作オプションを選択します。その後、イメージを処理します。
 例:
 - a スキャンを行う場合、[Source] メニューから [Properties] を選択して、さま ざまなスキャナ設定を選択できます。次に、スキャナからページのバッチ をロードして、[Source] メニューの [Process Batch] を選択し、バッチを処理 します。
 - b ディスクからイメージファイルをインポートする場合は、[Source]メ ニューの [Properties] からさまざまなデバイスオプションを選択して、 [Process Batch]を選択します。次に、[Open] ダイアログ ボックスからファ イルを選択して [OK] をクリックします。
 - **c** 表示されたイメージを印刷するには、[File] メニューから [Print] を選択しま す。

ツールバーおよびメニューから任意のオプションを使用できます。特定の操作 で利用できないオプションは、グレー表示されます。ツールバーおよびメ ニューに関する詳細は、次で説明します。

ツールバー

VCDemo ツールバーのボタンをクリックして、さまざまな操作を実行できます。この ツールバーを使用して、頻繁に使用されるいくつかのメニュー項目に素早くアクセス できます。



図 29. VCDemo ツールバー

[File] メニュー

[File] メニューのオプションを使用して、ファイル管理タスクを実行したり、 VCDemo を終了することができます。

File		1	イメージを開く、閉じる、または保存します。
Open Close Save As	Ctrl+0	\mathbb{Y}	.INI ファイルの設定を読み込む、または保存します。
Load Settings Save Settings			書き)]、[Insert (挿入)]、または [Append (追加)] を選択できます (ファイ ル形式がマルチページドキュメントをサポートしている必要があります)。
Units	Ctrl+U	 	特定のスキャンおよびイメージ処理操作で使用する単位を選択します。 [English (インチ)]、[Metric (センチ)]、または [Pixel (ピクセル)] を選択で
Save Files To Storage Format		-	きます。 保存するイメージのパス、ファイル名、およびファイル形式を選択します (PDE 形式で保存できます)
Print Print Setup			イメージを印刷します。
1 sample.tif 2 medical.tif 3 1234.tif 4 rsvp.tif			最近開いた 4 つのファイルのリストを表示します。
Exit		þ —	VCDemo を終了します。

図 30. VCDemo の [File] メニュー

[Source] メニュー

[Source] メニューのオプションを使用して、スキャナを選択したり、スキャナ設定 ユーティリティで設定したソースをインポートすることができます。また、1つある いは複数のイメージを処理したり、プロパティを設定することもできます。



図 31. VCDemo の [Source] メニュー

[View] メニュー

[View] メニューのオプションを使用して、イメージの回転や拡大/縮小などのさまざ まな表示操作を行うことができます。これらの機能は、表示されたイメージを調整し ますが、保存されたイメージには影響しません。また、[View] メニューのオプション 以外にも、マウスの左ボタンを使用してイメージを拡大表示できます。イメージが ウィンドウに合わせて表示されていない場合は、マウスの右ボタンを使用して、イ メージを移動できます。



図 32. VCDemo の [View] メニュー

[Imaging] メニュー

イメージ処理をサポートする Adrenaline イメージ プロセス エンジン (AIPE) がインス トールされていない場合、[Imaging] メニューのオプションがグレー表示されることが あります。AIPE がインストールされていると、[Imaging] メニューからパッチ コード 認識(カラー)や傾き補正(カラー)を含むバー コード認識、パッチ コード認識など のイメージ処理機能を選択できます。その他のオプションは、ブラック ボーダー削 除、罫線除去、および斑点除去などのイメージ処理機能を有効にします。これらの機 能を使用して、イメージに含まれている不要なボーダー、罫線、または斑点を削除で きます。これにより、OCR 認識の精度が向上し、ファイルのサイズも小さくするこ とができます。

★モ [Imaging] メニューのオプションは、イメージ処理用に設定されたソースデバイスが選択されている場合にのみ利用できます。

また、このメニューには、次の特殊な2つのオプションが含まれています。

- Demo Image Markup スキャンされたイメージにアノテーションを行います。
 このオプションは、イメージの左上隅に時間と日付を挿入します。
- Auto Endorse/Annotate Properties アノテーションとエンドーサ機能のデモンストレーションを行います。このオプションを使用するには、エンドーサ機能を持つスキャナで、さらに、VRSでサポートされていなければなりません。VRSでサポートされた、エンドーサ機能を持つスキャナのリストは、Kofax Web サイト(www.kofax.com)にある Scanner Configurator を参照してください。



図 33. VCDemo の [Imaging] メニュー

[Help] メニュー

[Help] メニューのオプションを使用して、VCDemo に関する情報を表示できます。



使用される ImageControls ActiveX カスタム コントロールのバージョン情報など を含む VCDemo に関する情報を表示したり、利用可能なエンジン、特定のモ ジュールでの改訂履歴などを含む ImageControls に関する情報を表示します。

図 34. VCDemo の [Help] メニュー

索引

Α

Adrenaline SCSI スキャナ コントローラ,66 セットアップ,65 ソフトウェアのインストール,14 要件,11 Adrenaline イメージ プロセス エンジン (AIPE), 6,92 Ascent Capture,10,69

С

Component Installer, 5, 23 Configurator、スキャナ, 11

F

FireWire FireWire について,8 インストール,47 インターフェイス,9 ドライバのインストール,47

I

ImageControls アプリケーション VRS を使用したテスト,58 ISIS

VRS インストール ガイド

ISIS について,8 VRSを使用したアプリケーションのテスト,58

Κ

Kofax Scanner Configurator, 11 Kofax スキャナ設定ユーティリティ, 23, 77

М

Microsoft .NET framework, 72

Ρ

PPM (Page per minute), 2

S

Scanner Configurator, 11 SCSI スキャナ コントローラ,44 Adrenaline,66 セットアップ,14 動作保証されたスキャナ コントローラ,9

Т

TWAIN TWAIN について,8 VRSを使用したアプリケーションのテスト,62 インストール,46,62

U

USB インストール,47 USB インターフェイス,9 USB ドライバ インストール,47 USB について,8

۷

VRS Component Installer, 5, 23 ImageControls アプリケーションを使用した テスト,58 ISIS アプリケーションを使用したテスト、58 Microsoft Office Document Imaging の使用, 62 Microsoft Office Document Scanning の使用, 62 TWAIN アプリケーションの使用,62 VCDemoを使用したテスト,58 アップグレード,14 アンインストール,69 インストール手順,14 削除,69 テスト,57 ライセンスのアクティベーション解除,73,74 VRS 基本, 2, 26 VRS のアップグレード,14 VRS のアンインストール,69

VRS の削除,69 VRS のテスト ImageControls アプリケーションを使用した テスト,58 ISIS アプリケーションを使用したテスト,60 TWAIN アプリケーションを使用したテスト,60 TWAIN アプリケーションを使用したテスト,62 VRS プロフェッショナル機能,2,3 VRS ライセンスのカテゴリ,2

W

Windows 2000 Professional, 9 Windows XP Professional, 9

あ

アクティベーション ライセンス,25 アクティベーション解除 インターネット未接続,74 ライセンス,73,74 アップデートの自動確認,52

い

インストール FireWireドライバ,47 SCSI スキャナコントローラ,44 TWAINドライバ,46 USBドライバ,47 VRS ソフトウェア,14 スキャンアプリケーション,51 インストール手順,14 インターフェイス,9

お オペレーティング システム ,9

か

傾き補正(カラー),92

E

互換性のあるスキャナ,3,77 コントローラ スキャナ,9,44

さ

サポート オプション,x

し

システムの推奨要件,7 システム要件,7 処理能力、スキャナ,2

す

スキャナ 互換性,3 動作保証あり,3,11 動作保証なし,3 スキャナコントローラ,9,44 スキャナ設定ユーティリティ,23,77 スキャナの処理能力,2 スキャナの接続 確認,48 スキャナの設定,11 スキャンアプリケーション インストール,51 スキャンソース Adrenaline スキャナコントローラ,68 VirtualReScan.58

せ

製品アップデート,52 製品アップデートの確認,52 接続 スキャナ,48 セットアップ Adrenaline SCSI スキャナコントローラ,65

τ

テクニカル サポート,x デスクトップ スキャナ用 VRS,2 デバイスのイベント 無効,48 デモモード,17,19,31,32

٤

動作保証されたインターフェイス,9 動作保証されたスキャナ,11 動作保証されたスキャナコントローラ,9 動作保証されたスキャナと動作保証なしのス キャナ,3

動作保証されていないスキャナ,3,68 登録 インターネット未接続,39 ライセンス,28,37 ドキュメント,ix 取り付け スキャナ,46 トレーニング,x

は

パッチコード認識(カラー),92

ひ

非インタラクティブ モード,23,83 評価モード,31

ふ

プロダクション スキャナ用 VRS,2

6

ライセンス アクティベーション,25 アクティベーション解除,73,74 カテゴリ,2 デモモード,17,19,31,32 登録,28,37 評価モード,31 ライセンスコード,26

わ

ワークグループ スキャナ用 VRS,2